

国立大学法人

群馬大学

GUNMA UNIVERSITY

大学案内
2024



国立大学法人

群馬大学

National University Corporation Gunma University

群羊を抜け 駆ける 世界を

GUNMA UNIVERSITY CAMPUS GUIDE 2024



「群を抜け 駆ける 世界を」とは？

群馬大学で思いきり学び、経験し、地域から世界に飛び出して行ってほしいという、学生への想いを込めたキャッチコピーで、2018年から発信しています。

CONTENTS

- 01 群馬大学創基150周年記念事業
- 02 TOPIC1 群馬大学創基150周年 特別企画
学生広報大使 本学卒業生の脚本家にインタビュー
～ドラマ『silent』を手がけた生方美久さん～
- 04 TOPIC2 Leap to the Future!
- 群馬大学で求める英語力はこうやって伸ばす -
- 06 PICK UP1 データサイエンス教育
- 07 PICK UP2 群大生向けカーシェア
桐生キャンパスにも広がる
- 08 PICK UP3 Global Frontier Leader 育成プログラム
- 10 —— 荒牧キャンパス キャンパス情報
- 12 共同教育学部
- 14 共同教育学部在学学生・先輩 Interview
- 16 情報学部
- 18 情報学部在学学生・先輩 Interview
- 20 荒牧キャンパス施設情報
学生会館 / 次世代モビリティ社会実装研究センター (CRANTS)
- 22 総合情報メディアセンター (中央図書館 / 情報基盤部門) /
数理データ科学教育研究センター /
食健康科学教育研究センター
- 24 —— 昭和キャンパス キャンパス情報
- 26 医学部医学科
- 28 医学部保健学科
- 30 医学部在学学生・先輩 Interview
- 32 昭和キャンパス施設情報
生体調節研究所 / 医学部附属病院 / 重粒子線医学センター
- 34 —— 桐生・太田キャンパス キャンパス情報
- 36 理工学部
- 38 理工学部在学学生・先輩 Interview
- 40 桐生キャンパス施設情報
機器分析センター / マシンショップ / 総合情報メディアセンター (理工学
図書館 / 情報基盤部門)
- 42 学生寮紹介 養心寮・啓真寮
- 44 学生サポート
学生支援センター / 健康支援総合センター / 障害学生サポートルーム /
キャリアサポート室
- 46 海外留学 海外研修プログラム / 協定校情報
- 47 学生広報大使の取り組み OPEN CAMPUS 2023
- 48 入試日程
- 49 群馬へのアクセス / 群馬大学の歩み

群馬大学創基150周年記念事業

群馬大学は、2023年にルーツである「小学校教員伝習所」の設立から150年を迎えます。これを記念し、群馬大学創基150周年記念事業のシンボルとなる「キャッチコピー」と「ロゴマーク」を群馬大学関係者（教職員、学生、卒業生など）から募集し、採用作品が決定しました。

キャッチコピー

駆ける未来へ
150年の歴史と共に

ロゴマーク



私たちが
考えました!

150年の歴史を背負って
これからの未来を創って
いけるような学校になっ
てほしいという思いを込
めました。



万年筆の筆先を「教育・学
問」、筆先から繋がってい
る線と山を「地域との繋が
り」として地域に根差した
大学であることをイメージ
しました。緑豊かなキャン
パスを想起させる緑を基調
とし、双葉の色で「4つの
学部」と「学部・国籍の垣
根を超えた多様性」を4
色のグラデーションで表現
しています。

キャッチコピーに選ばれた
制作者の加藤璃瑠さん
(共同教育学部1年)

ロゴマークに選ばれた
制作者の中島明日香さん
(2019年度 社会情報学部卒業)

肩書きは2023年2月時点

GUNMA UNIVERSITY WEB SITE

群馬大学公式HP

<https://www.gunma-u.ac.jp/>



受験生応援サイト

<https://www.gunma-u.ac.jp/prospective/>





TOPIC

1

群馬大学創基150周年記念 特別企画

学生広報大使 本学卒業生の脚本家にインタビュー ～ ドラマ「silent」を手がけた生方美久さん～

群馬大学は、2023年度に起源である「小学校教員伝習所」設立から150年を迎えます。そんな「創基150周年」を記念した特別企画として、医学部保健学科の卒業生で、人気ドラマ「silent」を手がけた脚本家の生方美久さんに、学生広報大使3名が昭和キャンパスでインタビューと写真撮影に臨みました。

インタビューは社会情報学部3年の荒川瑠香（上写真右）さんと医学部保健学科1年の高橋明日香（上写真左）さん、カメラマンは理工学府博士前期課程1年の大澤郁弥さんが務めました。

※学年は取材時のものです。

PROFILE

生方 美久（うぶかた・みく）
脚本家。1993年群馬県富岡市出身。2016年群馬大学医学部保健学科卒業。助産師をしながら独学で脚本を学び、2021年「第33回フジテレビヤングシナリオ大賞」で大賞を受賞。2022年10月からフジテレビ系で放送された連続ドラマ「silent」の脚本を手掛け、本ドラマは大きな話題を呼んだ。趣味は映画、ドラマ、音楽鑑賞。



群馬大学の魅力

荒川) 今回、生方さんにインタビューするというので、私たち学生広報大使で事前に質問したいことを考えてきました。はじめに、群馬大学との関わりについてお聞きしたいと思います。生方さんが群馬大学を選んだ理由、そして、医学部保健学科を選んだ理由について教えてください。

生方) やはり地元の国立大学という点が一番の魅力を感じました。看護師を目指そうと思ったのは高校3年生になってからで、保健学科を志望する上で、群馬大学には附属病院もありますから、それも大きかったですね。

荒川) 群馬大学の魅力はどのようなのですか？

生方) 自分の学生時代を振り返っても、国立大学、そして附属病院があるというのを理由に進学してきた友人が多かったです。そこはやっぱり大きな魅力だなと思います。他の学部のこと詳しく分からないけれど、私立大学と比べると学費が全然違いますし、附属病院のあるなしでも学べる環境ってかなり違ってくると思います。

荒川) 看護師を目指すきっかけはあったんですか？

生方) 2歳の時に大きな病気を患って、記憶はないのですが、中学生くらいになってから両親からその時の話を聞かされて、すごく単純なのですがそれで最初は医者になりたいと思ってました。でも実際に高校生になると、国立大学の医学科に入学するのはなかなか難しいと思って…。働ける場が一番広い医療職が看護師ではないかと思って、志望しました。

荒川) 保健学科の授業で印象に残っている授業や、大変だった実習とかはありましたか？

生方) 印象的だったのはやっぱり産科の分野ですね。もともと助産師になろうと思って保健学科の看護学専攻に入学したわけではなかったのですが、産科の授業を受けて、助産師というのに興味をもつようになりました。大変だったのもやっぱり助産師コース。4年生の1年間の助産の勉強がとにかく大変でした…。(インタビューの高橋さんに向けて) あれ？今



1年生？助産師…

高橋) はい。1年生です。助産師コースを目指しているんです。



生方) ああ！頑張ってる！ああ、ネガティブなことを言わなきゃよかった(笑) すごく、やりがいがあります！
一同(笑)

話題のドラマ「silent」

高橋) 昨年、生方さんが脚本を手がけたドラマ「silent」についてのご質問です。ドラマでは手話が多用されていましたが、学生時代に手話を使うきっかけや経験があったんですか？

生方) それが全然なくて。群大に手話のサークルがあることは知っていましたが、関わりはありませんでした。今回のドラマも、プロデューサーから手話を使う話をもらって、私の方でストーリーを考えたいという形でした。ただ、脚本を書くことが決まって、手話教室に半年くらい通って勉強しました。

高橋) 生方さんはクラブ・サークルなどに所属してましたか。楽しかった思い出があれば教えてください。

生方) 1年生の頃から生協の学生委員会に所属してました。みんなでワイワイと企画を考えて、実行して。そんなことをずっと繰り返しやっていて。今思えば、ドラマ作りと似ているようなことをやっていたなと思います(笑)

荒川) 生方さんは富岡市のご出身ですが、「silent」でもロケ地に群馬が使われてたりして、群馬の好きなところはありますか？

生方) 群馬の好きなところ…田舎といえば田舎ですけど、言うほどではないじゃないですか(笑) なんか、つまらない答えですけど、東京にも日帰りで遊びに行ったりできる距離じゃないですか。程よく田舎だけど、さっと東京にも行けちゃうみたいなその距離感はドラマでも使いやすいかったです。(東京在住の)自分としても帰ろうと思えばいつでも群馬に帰れるみたいな安心感がありますね。

高橋) 脚本家をやる上でうれしいことややりがいについて教えてください。

生方) ドラマ化されて反響をもらうというのも、もちろんうれしいですけど、自分と一緒に作ってきたス

タッフやキャストの方から直接、具体的にここが良かったとか、脚本のここが好きですか、そういうことを言ってもらえるのが私としてはやりがいになりますね。最終回が終わってから、スタッフやキャストからお礼を言ってもらえると、大変だったけどやって良かったなって思います。

荒川) 脚本家というお仕事をする上で影響を受けたドラマなどはありますか？

生方) 自分がドラマをすごく好きになったきっかけは、脚本家の坂元裕二さんでした。好きなドラマを並べたら、坂元さんの脚本作品ばかりだって気づいて、それで脚本に興味を持ったって感じですね。映画もよく観ますよ。元々は映画を作りたいって、脚本を始めた。最初は映画監督になりたいと思って、まずは脚本をかけるようになってきたのがきっかけです。

荒川) 脚本家として、これからやってみたいお仕事はありますか？

生方) やっぱり映画の脚本を作りたいですね。できるだけ原作がないものを書きたいというのが目標としてあるので、オリジナル映画というのがまずは目標です。

荒川) ちなみにその映画ではどんなものを書きたいですか？

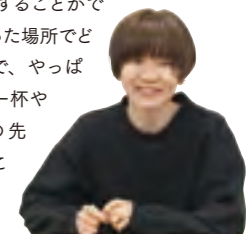
生方) ファンタジーとかSFとか派手なアクションとかよりは人間ドラマ、リアリティのある人間ドラマが好きなので、でも今回(「silent」で)ラブストーリーはやったから、しばらくはちょっといいかな(笑) 人間ドラマを書きたいというのはあります。

高校生に伝えたいこと

高橋) 高校生の読者がメインとなっていますので、最後に高校生や受験生に応援メッセージをいただけるとうれしいです。

生方) 私も大学受験めちゃくちゃ勉強して、ギリギリで受かったって感じなんですけど(笑) 実は私、高校受験で第一志望の高校には落ちています。でも、結果的に大学受験では第一志望だった群大に入学することができました。結局、行った場所でするからかと思うので、やっぱり今できることを精一杯やる。まだ18歳、この先何とでもなるよってことかな。

※敬称略



Leap to the Future!

— 群馬大学で求める英語力はこうやって伸ばす —

群馬大学の英語教育目標



問題解決策議論中

これからの社会は、目の前の問題を解決するだけでなく、目に見えていない問題、今後我々人類が遭遇するであろう問題を予知し、その解決策を探っていく能力が求められるでしょう。知識をため込むだけでなく、獲得した知識を有機的につなぎ合わせ、新たな知を創造することが重要です。そして、持続可能な社会を実現するために、地球規模で多様な背景を持つ人々と協働していくことが必須となります。そこで必要となるのは、自分自身のアイデンティティをきちんと持ちながら、他者の意見を受け入れる柔軟性と共感性、そしてコミュニケーション力です。そのために、群馬大学教養教育課程での英語教育目標を次の通り定め、全学統一シラバスを策定し、授業を行っています。

- ①英語による主体的・協働的な学びを通して、文化・社会と自分のつながりを認識し、場面・状況を考慮したうえで、もっとも適切な形で、自分のアイデンティティについて英語で表現（発信）できる力を養う。
- ②英語による主体的・協働的な学びを通して、身の回りの問題や変化に気づき、それについての考察を深め、解決策を発信する力を養う。

考えて、使って伸ばす英語力

上述した英語教育目標を達成するために、群馬大学では「アクティブラーニング」の一つであるProject Based Learning (PBL)の手法に従った英語教育を実践しています。「アクティブラーニング」とは、学習者の能動的学習参加を取り入れた学習法の総称で、学習者の認知的、倫理的、社会的能力などを含めた汎用的能力を育成することを目的とします。PBLとは問題解決型の学習方法であり、群馬大学での教養教育科目英語学習では、単に言語的知識をインプットするだけの学習環境とは全く異なり、学生たちは常に能動的に「考えて」「発信する」ことが求められ、その媒介言語が英語となります。よって、「読む」「聴く」「話す」「書く」「やりとりする」といった言語活動のすべてを英語で行うことが求められます。知識だけの英語力ではなく、スキルと呼べる統合的英語力習得が群馬大学生の目標です。

英語力向上のエビデンス

総合的学習で英語力が向上するのであろうか、と不安に思う人もいるでしょう。ですが、2021年入学生の追跡調査結果が、その有効性を証明しています。その調査の1つがTOEIC-IPテストの結果です。入学時の全学生の平均スコアを100%としますと、1年次末のそれは111%となり、52ポイントも上昇しています。さらに本学では年度初めと終わりに学生自身が自らの英語力と英語学習態度を自己評価するCan-do Statementを実施しています。その年度末結果にも、自らの英語力そして英語学習に対する姿勢のいずれについても向上、改善していると評価している結果がでています。

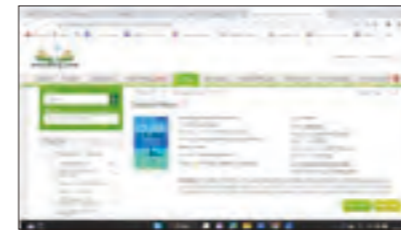


ポスター作製打ち合わせ中

ポスター発表

自律した英語学習者を育てる仕組み

大学では、授業以外の学修活動が必須となっています。自ら学習目標を立てて、自律した学習者として英語学習に取り組めるように、豊富な「多読教材」を準備しています。図書館にも電子ブックを含め、約25,000冊の多読用ペーパーバックを取り揃えているほか、オンラインでアクセスできるXReadingシステムも準備しています。



XReading

また、2023年度からEdulinx社の英語e-LearningシステムReallyenglishを導入します。これにより、学生が好きな時に好きな場所で、スマホやPCからアクセスし、英



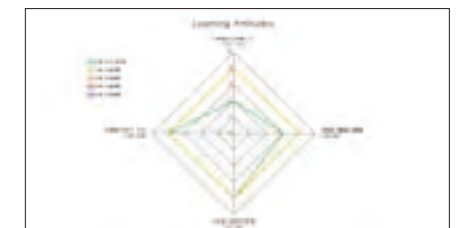
e-Learningシステム Reallyenglish (Edulinx社提供)

語自主学习に取り組むことが可能です。やる気があれば、貪欲に学べる環境を整えています。

群馬大学では、学生が自らの学修をモニタリングできるシステムとして、ポートフォリオをオンライン上に設定しています。学生は、自分の蓄積されている英語学習成果を確認し、目標を再設定しながら学習に継続的に取り組むことが可能となります。



ポートフォリオ



Can-do Statementの推移を表すグラフ

英語教育目標に特化した学内制作の教科書

上述した英語教育目標を達成するために、群馬大学では学内で教科書を制作し、群馬大学出版会から出版しています。

この教科書の構成は、「群馬大学での英語教育目標を理解し、自らの英語教育目標を立てることから始まり、PBLに従って問題発見、問題解決、最終プレゼンに至るまでのプロセスをクラスメートと協働作業で取り組む」ものとなっています。さらに、教科書内に収められている英文記事は、英語教育に関わる教員のみならず、すべて群馬大学の全学部の教員から寄稿されたものとなっていますので、各学部の専門性も含むような内容となっています。他にはない群馬大学ならではの教材に仕上がっています。



2022年度
前期用教科書

2022年度
後期用教科書

Let's leap to the

future together!!

みなさんがしっかりと目標に向かって挑戦することをサポートできるように、私たちはここにいます。群馬大学で一緒に学べることを楽しみにしています。さあ、ともに進んで行きましょう。



学生制作ビデオもご覧ください >>



データサイエンス教育

～これからの社会に必須なスキルを修得～

社会的な背景

これからの情報を基盤とした社会においては、数理・データサイエンス等の基礎的な素養を備え、大量のデータを正しく扱い、新たな価値を創造する能力が必要となっていきます。基礎及び応用科学はもとより、特にその成果を開発に結び付ける学問分野においては、数理・データサイエンス等を基盤的リテラシーと捉え、文理を越えて共通に身につけていくことが重要とされています。

群馬大学は、文部科学省が進める「大学の数理・データサイエンス教育強化」の協力校に選定されたこれまでの実績により、北関東唯一の数理・データサイエンス分野専門の「数理データ科学教育研究センター」を設置しました。このセンターが中心となって、**2020年度から、全ての学部新入生（1年生）の必修科目として「データ・サイエンス」を開設**しました。

文理を越えた数理・データサイエンスに係るリテラシーの涵養と基礎的能力の充実を図ることを目的とし、社会において実践的に活躍するための数理的思考力を持った人材の育成を進めていきます。

「データ・サイエンス」はこんな授業です。

コンピュータの仕組み、Excelの使い方、ネットワークとサービスを学んだ上で、最終演習として実際に生きたビッグデータを用いてのデータを分析します。

また、2023年度からこの授業はオンデマンド型により行います。オンデマンド授業は、大学の学習管理システム（群馬大学LMS）等を利用して動画視聴や演習、質疑応答を行うものであり、繰り返し何回でも自分のペースで学ぶことができます。

「データ・サイエンス」を学ぶとこんなことができるようになります。

- コンピュータやインターネットの基本的仕組みと適切な利用の仕方を理解することができる。
- データを取り扱うために必要なパソコン、アプリの操作ができる。
- Excelを用いて、データが持つ性質について把握することができる。
- 統計データを適切に処理することができる。
- 簡単なプログラミングができる。



- 群馬大学の「データサイエンス教育」
- 文科省の認定プログラムに!
- 県内唯一

群馬大学の教育プログラムが、2021年度に文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」に認定（有効期限：2026年3月31日まで）されました。大学ではこの認定教育プログラムは、全国で96件認定されており、本学の認定教育プログラムは群馬県内で唯一（※2023年3月現在）のプログラムです。

群大生向けカーシェア 桐生キャンパスにも広がる

荒牧キャンパス、学生寮に続き、3カ所目

群馬大学情報学部・社会情報学部と群馬トヨタ自動車株式会社が2022年秋から、新たに桐生キャンパス駐車場にもカーシェア車両を2台設置しました。



桐生キャンパスにも広がった群大生向けカーシェア



荒牧キャンパスに設置されているカーシェア車両



群大と群馬トヨタ 大学生向けのカーシェア共同実証実験



群馬大学と群馬トヨタは「大学生向けのカーシェア共同実証実験」として、2019年10月から荒牧キャンパス内にトヨタシェアのサービスステーションを設置（現・車両3台）する共同実証実験を行っており、現在、300人以上が登録しています。群馬大学では利用時間帯や移動距離、利用者アンケートなどについて分析し、データ解析の教材に役立てるほか、群馬トヨタでは大学生向けの新サービスプランの提案・開発や利用促進の提案を行うことで、車社会・群馬における地域貢献や若者のクルマ離れの解消を目指しています。



理工学府長の石間経章教授（左）と群馬トヨタの横田衛社長

群馬県前橋市にある学生寮の「養心寮」でもサービスステーションを設置（車両1台）しており、桐生キャンパスで3カ所目となります。

群馬トヨタが提供するカーシェアシステム「TOYOTA SHARE」によって、スマートフォンに専用アプリをダウンロードすることで、会員登録から車の開錠施錠、エンジンON/OFF、返却・精算まで利用可能で、安全装備が充実した車をシェアリングできるのが特徴です。「TOYOTA SHARE」の中でも、群馬大学での利用状況（稼働率）は、全国で上位とのことで、多くの群大生が利用しています。



養心寮に設置されているカーシェア車両

お知らせやお得な情報を発信しています!
詳細はこちら→



Twitter

» GFLって?

自国および他国の文化・歴史・伝統を理解し、外国語によるコミュニケーション能力を持ち、国内外において主体的に活動できる人(グローバルフロンティアリーダー (GFL))を育成するプログラムです。



グローバル交流セミナー・サマーセミナー

外国人留学生や大学院生による講演会や各種ガイダンスを行います!



外国人教員による特別プログラム

グループワークやプレゼンテーションを主とした実践的な英語講義に取り組んでいます。



特別講演会

行政・企業等のトップリーダーや先端研究に携わる研究者を学生自ら招聘し講演会を企画開催します!



海外留学

GFL 企画の留学プログラムも用意しています! GFL 生は自身で選択して、学内外の留学プログラムや海外研修に参加しています。

どうすればGFL生になれるの?

I GFL 特別枠入試を受けて入る!

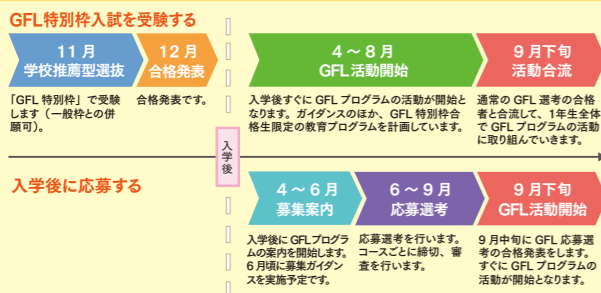
II 入学後に応募・選考を受けて入る!

学校推薦型選抜(11月実施)においてGFL特別枠入試を実施している学部があります。

※詳細は、本学ホームページの「入試案内」を参照してください。

入学時からGFL活動に参加でき、GFL特別枠合格者限定の教育プログラムを実施しています。

選抜スケジュール



詳しくはこちらを参照ください!



ご不明点等ありましたら、どうぞご遠慮なくお問い合わせください

✉ gfl-admin@ml.gunma-u.ac.jp

教育・情報 GFL コース



共同教育学部 理科専攻
松井 理紗 さん (GFL 2020年度生)
群馬県立高崎女子高等学校 出身



情報学部 情報学科
小原 美佳 さん (GFL 2021年度生)
群馬県立高崎女子高等学校 出身

『GFLで得られる刺激や情報はとても貴重です!』

私が GFL プログラムを志望したのは、高校時代に経験した留学や国際協力に関する活動への参加を通して国際協力という軸ができたからです。GFL の活動では、ネパールの学生とのオンライン交流会に参加しました。興味関心のあるテーマを提案し話し合い、報告会ではそれぞれの教育の違いなどについて発表を行いました。また、GFL の同窓会では、先輩方の留学経験や卒業生の講演などさまざまな話を聞く機会となり、GFL というコミュニティは大きな武器であり、最大のメリットだと感じました。GFL で得た繋がりや刺激が、国際協力への思いという私の軸をより強いものにしてくれたと思います。

「子どもたちを幸せにしたい」という自分の想いを実現するためにも、将来に向けて国際への情熱を持ち続けたいと思っています。

『学部の勉強とGFLの活動に全力で取り組んでいます!』

国際的な歴史や文化の違いなどに興味があり、大学に入っても様々なことに挑戦してみたい、そのためには GFL プログラムで活動したいと高校時代から強く思っていました。GFL では、学年リーダーとして活動し、GFLet's という新しいプログラムを立ち上げました。GFLet's は、英語ディベートや交流イベント、様々な企画を自ら考え、学年学部を超えて英語で交流することをメインにした活動です。その活動を通してリーダーに必要な様々な力を学ぶことができました。今は幅広い知識を身につけることができる情報学部の学びと GFL の学年リーダーとしての活動で学生生活が本当に充実しています。経済や経営の分野にも興味があるので、これからはより多くの国の歴史や文化、言語などの架け橋となり、GFL で得たリーダーシップを活かし社会に貢献できる人になりたいと考えています。

医理工 GFL コース



医学部 医学科
春日 萌花 さん (GFL 2019年度生)
埼玉県立浦和第一女子高等学校 出身

『現地の学生との仲を深められたことが最大の財産です!』

GFL は学部の垣根を超え留学に対する志の高い友人ができます。私は他学部の GFL 生とオーストラリアのディーキン大学に1カ月留学しました。自身の専門である医療分野だけでなく、実践的な学びを体験でき、貴重な時間となりました。少し抵抗のあった英語は、同じ大学寮で生活した現地学生や他国留学生との積極的なコミュニケーションで克服できたと思います。当時の仲間とは、今でも SNS で繋がり、近況を伝えあっています。留学後は英語に触れる機会が減ってしまいましたが、GFL 生の留学経験から刺激を受け、隙間時間で留学に必要な勉強をするなど、留学へのモチベーションは高まっています。GFL の先輩や友人から受ける刺激はとても大きいものです。実習などで忙しくなってきましたが、仲間との繋がりを大切に、自分の留学や将来に活かしていきたいと考えています。



医学部 保健学科 検査技術科専攻
仲丸 優香 さん (GFL 2021年度生)
新潟県立長岡高等学校 出身

『オンライン留学でも積極的に発言して多くのことを吸収できました!』

志望校を選ぶ時に群馬大学の GFL のことを知り、チャレンジしたいと思いました。医療系を目指していたと同時に国際系にもとても興味があり、GFL の中でいろいろな活動をしたと考えていたからです。インドのオンライン留学では、医療に対する考え方の違いなど視野を広げることができました。また実現したいことのひとつであった英語ディベートを自主企画として行いました。参加した学生からは、楽しかった、またやりたいという声があり達成感を得ることができました。自分がやりたいことを実現させるのは簡単ではありませんが、GFL では様々な活動にチャレンジでき、留学生との交流もあり、とても充実した時間を送ることができました。将来は法医学の世界へ進みたいと思っています。GFL で得た経験や知見を活かして活躍できる人材になりたいです。



理工学部 化学・生物化学科
金城 翔太 さん (GFL 2020年度生)
沖縄県立首里高等学校 出身

『自ら積極的に行動するGFL生から刺激を受けます!』

私は、大学とは学びも遊びも含めて多くの経験をする場だと考えています。大学では新しい経験をしよう、高校では生物を履修していなかったものの、大規模な合成生物学の国際大会(※)に出場して、銀メダルを獲得することができました。そのチームには GFL 生が多く、GFL の様々な活動について聞いたことをきっかけに GFL への参加を希望しました。GFL では、講演会の行事リーダーや早期に所属した研究室での成果発表、自ら企画・実施する自主企画への参加など、多くを経験できました。これらの経験から、失敗も成功も楽しめる度胸と自信、そして自らの成長を実感することができました。自身の成長を望むなら、GFL はとても良いチャンスだと思います。大学生活を刺激的で実のあるものにした、そう感じたなら GFL 生を目指してみませんか?

(※)iGEM (The International Genetically Engineered Machine competition)

荒牧キャンパス

■ 群馬県前橋市荒牧町4-2

■ 共同教育学部・情報学部（社会情報学部）の全学生と初年次教育を学ぶ医学部・理工学部の学生（1年次）が通うキャンパス。

※全学部1年次は荒牧キャンパスに通います



1 正門からの風景



6 11号館
(次世代モビリティ社会実装研究センター)



7 大学会館
(多目的ホール・学生食堂・売店・アトリウムラウンジ)



8 10号館
(情報学部・社会情報学部)



- 電車** ● JR両毛線にて前橋駅下車、北方へ8km
- バス** ● JR前橋駅北口2番乗り場（関越交通バス）
● 群馬大学荒牧経由渋川市内循環渋川駅行、小児医療センター行「群馬大学荒牧」下車（所要時間約28分）
● 渋川駅行、渋川市内循環渋川駅行「前橋自動車教習所前」下車（所要時間約25分+徒歩10分）



2 総合情報メディアセンター
(中央図書館/情報基盤部門)



3 1号館
(大学教育・学生支援機構(学生センター))



4 6号館
(共同教育学部)



5 課外活動施設



9 キャリアサポート室



10 健康支援総合センター



11 馬場



荒牧
キャンパス
Aramaki Campus

Cooperative Faculty of Education

共同教育学部

全国初の共同教育学部 群馬の教師教育の拠点

共同教育学部は、小学校、中学校、高等学校、幼稚園および特別支援学校等の教諭を目指す人が学ぶ学部です。小・中・高・幼・特別支援等の中から複数の教員免許状を取得できます。学校教育に対する多様な要求に対し、柔軟かつ効果的に応えられる高度な専門的知識・技術と豊かな人間性を身につけた教育者の養成を目的としています。1年次から4年次まで、学校現場に触れる教育実習関連科目を用意しています。

▶ 共同教育学部 HP

<https://www.edu.gunma-u.ac.jp/>



系	専攻	概要
人文社会系	■国語専攻 ■社会専攻 ■英語専攻	各教科の専門的知識や小学校・中学校の教科指導法について修得します。
自然科学系	■数学専攻 ■理科専攻 ■技術専攻	
芸術・生活・健康系	■音楽専攻 ■美術専攻 ■家政専攻 ■保健体育専攻	教育学・教育心理学の専門的知識や小学校の教科指導法について修得します。
教育人間科学系	■教育専攻 ■教育心理専攻 ■特別支援教育専攻	
		特別支援教育の基礎理論、聴覚障害児、肢体不自由児、病弱児の心理・生理・病理や指導法、重複障害などについての専門的知識を修得します。

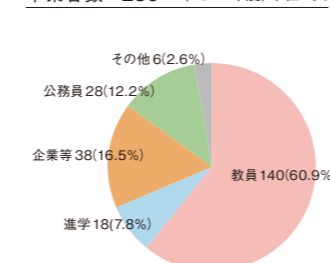
取得できる教員免許状

- 1種免許は基礎資格(免許状を取得するために必要な資格)が学士(大卒以上)で、2種免許は準学士(短大卒等)になります。1種免許は、2種免許より単位を多く修得しなくてはなりません。
- 公立の小・中・高・特別支援学校に採用されるには、各都道府県の教育委員会が実施する教員採用試験に合格する必要があります。本学部では、学生が教員採用試験に合格するように対策講座や面接指導などのきめ細やかな支援を行っています。

専攻	■国語専攻 ■社会専攻 ■英語専攻		■教育専攻 ■教育心理専攻		■特別支援教育専攻	
	■数学専攻 ■理科専攻 ■技術専攻	■音楽専攻 ■美術専攻 ■家政専攻 ■保健体育専攻			特1種・小2種コース	特1種・中2種コース
卒業時	●小学校1種 ●中学校1種(専攻教科)	●小学校1種 ●中学校2種(1教科)	●特別支援学校1種 ●小学校2種	●特別支援学校1種 ●中学校2種(1教科)	●小学校2種	●中学校1種(中学校2種と同じ教科)
他に取得可能な免許	●中学校2種(他教科) 又は 特別支援学校2種 ●高等学校1種 ●幼稚園1・2種	●幼稚園1・2種 ●中学校1種(中学校2種と同じ教科) ●特別支援学校2種 ●高等学校1種	●小学校1種 ●中学校2種(1教科) ●幼稚園1・2種	●小学校2種 ●中学校1種(中学校2種と同じ教科) ●高等学校1種 ●幼稚園1・2種		

▶▶ 共同教育学部

卒業生数 230 (2021年度)単位:人



群馬県公立学校教員採用試験の校種別結果と占有率

2023年度採用	群大教育学部		
	全合格者数	合格者数	占有率
小学校	125	29 (7)	23.2%
中学校	206	90 (26)	43.7%
特別支援学校	51	12 (5)	23.5%
小計	382	131 (38)	34.3%
高等学校	55	12 (5)	21.8%
全合格者 合計	437	143 (43)	32.7%

新卒者(大学院、専攻科を含む)の群馬県公立学校教員採用試験志願者と試験結果

年度	志願者数	一次試験合格者数	二次試験合格者数
2021年度採用	158	138	102
2022年度採用	150	123	101
2023年度採用	137	118	100

■ 主な就職先 (2021年度)

群馬県内および各都道府県の教員(公立小・中学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園、私立学校ほか) 地方公共団体(群馬県庁、前橋市役所、高崎市役所、伊勢崎市役所、太田市役所、前橋市消防局) 企業等((株)群馬銀行、(株)東和銀行、(株)クスのアオキ、(株)ベイシア、(株)ワコール、(株)心水整、(株)松竹エンタテインメント)



共同教育学部
在学生に聞く!

Interview

子どものことを 第一に考えられる先生に なりたい

実習や教壇に立つ経験で自分に
足りない部分が見えてくる

高校生の時は日本史が好きで、社会
科という教科をもっと学びたいと思って



いました。群馬大学の社会専攻は分野ごとに研究室があり、地理、歴史、公民分野を幅広く勉強できることを知って群馬大学を選びました。高校の先生方にお世話になった経験から、自分も高校教諭になりたいと考えていましたので、1年生から実習があり、教育現場をより知ることができるのも魅力でした。オープンキャンパスに参加した時にちょうど地理の説明会を実施して体験学習や実習が多いと感じました。また、共同教育学部は宇都宮大学の先生の授業をオンラインで受けたり、実際に宇都宮大学の先生が群馬大学で講義をされたこともあります。ほかではなかなか得られない体験ではないでしょうか。

社会専攻は歴史や地理、現代社会など一見それぞれが別のジャンルのように見えるかもしれませんが、実は一つの線で繋がっていて、現代社会にも歴史があって、そこから今の憲法や政治ができています。高校生の時はそのことに気づきませんでした。大学に入っている学んで今それを実感しています。小学校と中学校の教育実習を終えましたが、体験してみて本当に先生の負担は大きいなと感じました。でもそれだけにやりがいがあるとあらためて思いました。

中里 若葉さん Nakazato Wakaba

共同教育学部 社会専攻 3年
(足利大学附属高等学校 出身)

授業では模擬授業が大変だった思い出があります。同級生の前で教壇に立つということをするのですが、算数の授業では時間が足りなくなってしまう、特に初めての時は、しっかり準備をしたつもりでしたがいざ教壇に立ったら緊張してしまって頭が真っ白になりました。

入学して新しい自分の興味を発見
することができた

今は自然地理学の研究室で防災教育や災害の伝承について論文を読んだり、事例研究を調べたりしています。歴史が好きで社会を専攻しましたが、大学に入って火山の歴史や形成史を調べたりする楽しさを知りました。特に火山防災に興味があり、今後は火山防災の実態やハザードマップの認知度などについて理解を深めていきたいと考えています。卒業論文に向けて4年間の集大成として教科の専門性を高めるとともに、研究の計画を立てています。

将来は子どもたちが自分の授業を受けてどう思うかを常に考えられる教師になりたいです。高校もちろんですが実習を経て、小学校や中学校の先生も良いな、と今悩んでいます。高校の教師は進路や人間関係についての相談などにも乗ります。そんな心のサポートまでできるような先生が憧れです。残りの大学生活でたくさんの経験を積んで、教育現場や日本の社会に貢献できるような人間になりたいです。



※学年は取材時のものです。



Interview

個性豊かな仲間や先生のおかげで
キャンパスライフを謳歌

私はもともと国語の教員を目指していましたが、高校3年の時の恩師のおかげで美術が好きであったことを再確認し進路変更しました。部活動にも力を入れていたので、引退後から画塾に通って猛勉強し、群馬大学へ入学しました。群馬大学へは、自宅から通える距離感や自然豊かな環境に魅力を感じ、進学を希望していました。入学後はその魅力がさらに増し、充実したキャンパスライフを過ごすことができたと実感しています。

その理由の1つが、美術科は当時1学年15人と少人数であったため、学年の壁を超えて先輩後輩が仲良くなれるところです。新歓登山や体育祭など、美術科独自のイベントも多かったのも自然と交流が深まり、多様な出会いが価値観を広げてくれました。

そしてもう1つは、多分野に秀でた先生方の存在です。さまざまな分野を深く理解されている講師陣のおかげで、自身の知識を深めることができましたし、専門性を養うこともできました。相談できる、後押ししてくれるといった先生も多く、大学院1年次には後輩と陶芸サークルを立ち上げることができました。また、大学3年から大学院2年まで美術教育研究の道に進んだのですが、そこでお世話になった恩師の存在も大きかったです。協同学習の研究が主だったため、先生に同行させてもらっては多彩なワークショップを見させてもらいました。“本物に触れること”の大切さを教えていただき、今でも大きな財産となっています。

ここでの学びや繋がりが今でも道標
尊敬し合える仲間と教育界に
旋風を巻き起こしたい



共同教育学部
先輩に聞く!



美術の授業を通して子どもたちに
学ぶことの楽しさを伝えたい

ゼミや大学院では、子どもたちの学びの根源や本質を探るべく、特別支援学校における美術教育の在り方について研究しました。大学附属の特別支援学校で造形ワークショップの実践授業を行わせていただいた結果、子どもたちが自己表現を身に付ける上で美術や図工が有効であることを導き出せました。この研究から得られた成果は、教員当初に不安や戸惑いを感じていた自分を支え、協働学習を大切にしてきた自分の道標になっている気がします。

実は、陶芸サークルを立ち上げた後輩と、2016年に美術の先生を集めたユニット「群馬美術教育研究所(ぐんびけん)」を結成しました。特に中学校では、美術の先生は1人しかおらず孤立してしまうケースが多かったので、もっと気軽に相談できる場を増やそうと思ったのがきっかけです。今では、授業で行う題材を互いに提案し合うほか、コロナ禍では自宅で作る造形遊びの動画を作ってYouTube配信するなど、幅広く活動させてもらっています。仲間の存在はいい刺激になっていますし、この仲間たちと美術の授業を通して子どもたちに学ぶ楽しさを伝えていけたら、さらには、学校教育を見直す機会も作ってあげたいと夢見ています。

亀井 章央さん Kamei Akihisa

勤務・邑楽町立邑楽中学校
教育学部 美術専攻 平成22年度卒業
大学院 美術教育専修 平成24年度修了
(群馬県立太田高等学校 出身)

進路を考えるにあたっては、人から与えられるのを待っているのではなく、自分のやりたいことを自分の力で見つけていくことが大切です。その先が群馬大学へ続くなら、きっと同じ価値観を持った仲間や素晴らしい先生、優れた学びに出会うことができるはずですよ。





プログラム概念図

1年次 学部基盤教育

どのプログラムにおいても基軸となる専門能力を養い、プログラム横断型の科目の履修を通じて文理融合による俯瞰力を育成します。

2年次 希望するプログラムを選択

情報学

融合型PBL・ゼミナール(演習)・卒業研究により、実践的に活躍できる能力を涵養します。



人文情報プログラム

言語メディア論

マス・コミュニケーション理論

ソーシャルメディア論

情報社会と倫理

社会的コミュニケーション基礎論

【養成する人材像】人文科学的知見を活用して高度情報化社会における課題を探索する能力を修得し、課題解決のための実践的理念を提供する能力を養成します。

● 将来のキャリアビジョン: マスコミ・メディア産業/情報通信関連企業/広報部署/企画・調査部署/公務員/社会起業家 など



社会共創プログラム

情報政治論

情報社会と人権

情報法・行政法

経済学基礎論

政策情報論

【養成する人材像】高度情報化によるシステム(制度)の変化について、社会科学的知見を活用して課題を発見し、社会的課題の解決および社会目標の達成のためのシステム(制度)の構築や方策を提案できる能力を養成します。

● 将来のキャリアビジョン: 公務員/金融機関・情報通信業/企画・営業部門/フィナンシャルプランナー/証券アナリスト/アクチュアリー/経営コンサルタント など



データサイエンスプログラム

機械学習

確率統計

数理最適化

医療情報学

データベース

【養成する人材像】社会全体から集められるビッグデータを、情報システムを利用して収集する方法を設計し、集まったデータから、目的とする価値に適合した解決策を導く能力を養成します。

● 将来のキャリアビジョン: データサイエンティスト/システムエンジニア/情報サービス業・金融業・製造業等のIT関連研究開発者/公務員/アクチュアリー/経営コンサルタント/医療情報技術者 など



計算機科学プログラム

計算機システム

人工知能

情報ネットワーク

プログラミング言語

アルゴリズム

【養成する人材像】計算機や情報ネットワークをその数理的原理から理解することで、進歩の速い情報技術をフォローアップできる能力をもち、人工知能や各種情報システムを研究開発できる能力を養成します。

● 将来のキャリアビジョン: ITエンジニア/情報通信機器開発者/組み込みシステム設計開発者/システムエンジニア/企業等のIT関連研究者 など

荒牧
キャンパス

Aramaki Campus

Faculty of Informatics

情報学部

文理融合学部 充実したデータサイエンス教育

情報学部は、2021年にそれまでの社会情報学部と理工学部電子情報理工学科情報科学コースが合流し、外部からの新たなスタッフも加わりパワーアップしました。科学技術と人間社会の調和が求められる中で、情報を軸とした文理横断型の教育により、Society5.0を支える、IoTやビッグデータや統計的解析等のスキルを持ちつつ、人文科学・社会科学・自然科学の知見を有した、文系・理系どちらにも偏りすぎないバランスのとれた人材の育成を目指しています。

▶ 情報学部 HP

<https://www.inf.gunma-u.ac.jp/>



入試は?

大学入学共通テスト

● 前期・後期ともに文系でも理系でも受験できます。

前期日程

● 数学、英語 両方またはいずれか片方でも受験可能

後期日程

● 小論文 大学入学共通テスト重視型、小論文重視型が選択可能

※入試科目の詳細については、7月公表の入学選抜に関する要項をご確認ください。 ※学校推薦型選抜も実施します。



情報学部
在学生に聞く!

Interview



群馬大学独自の 魅力的なプログラム

群馬大学を志望したのは、情報学部の独特のプログラムや、グローバルフロンティアリーダー (GFL) 育成プログラムに魅力を感じたからです。

情報学部には理系・文系合わせて4つの選択制プログラムがありますが、私はその中で「社会共創プログラム」に所属しています。これは、「先端情報技術により可能となる価値を社会制度として実装できグローバル社会で活躍できる人材」を目指すプログラムで、主に法律・環境系科目や経済・経営系科目、政策などを学んでいます。

授業では、さまざまな科目でグループワークが取り入れられています。グループリーダーを担ったときには、スケジュールの立て方、効率的な作業分担と作業しやすい環境づくりを心掛けました。他のメンバーの意見や考え方を聞き、新たな視点から課題解決に近づけることもあります。時には想定外の事態が起こることもありますが、協力して乗り越えたときの達成感は格別でした。今、取り組んでいるのは、架空の商品を考案してプロモーションするグループワーク。各自アイデアを出し合い、プレゼンテーションして、商品のCM作成まで行います。スマホやカメラで動画を撮影するのは、難しいけれどとても面白いですよ。

稲葉 優香さん Inaba Yuka

情報学部 情報学科 2年
(茨城県立下妻第一高等学校 出身)

情報技術を学んで、 身近な暮らしを支えたい

身につけたことを将来に 生かしたい

グローバルフロンティアリーダー (GFL) 育成プログラムにも所属して、さまざまな活動を行っています。例えば、国の代表になりきって他国と提携しながら解決策を考える模擬国連なども経験しました。GFL には意欲的な学生が集まっているので、刺激を受けて「もっと積極的にいろいろなことに挑戦してみたい!」と、モチベーションが高まります。

将来の目標は、社会的課題を解決する政策を提案し、地域の人々の生活を支えることです。情報技術を用いて、身近な暮らしを支えられるような公務員を目指しています。外国の方が多く住んでいらっしゃる地域もあるので、グローバルな視野が持てるよう GFL 活動での経験を生かしたいと思っています。

大学の授業は、1年次はコロナ禍でほぼオンライン、2年次からは対面受講になりました。オンラインでも対面でも、質問すると先生方が丁寧に説明してくださり、意欲的に学べる環境が整っていると感じています。講義を受けるときに私が心がけているのは、「なるべく前の席に座る」ということです。大学は基本的に座席が自由ですが、前方で受講した方が先生の話が頭に入りやすく、やる気も出るのです。

高校生の皆さん、勉強は日々の積み重ねが大切です。実際、私も高校で学んだことが大学での学びにつながっていると感じています。今、勉強していることが、今後どこかできっと皆さんを支えてくれます。皆さんの努力が、良い結果につながるよう応援しています!

※学年は取材時のものです。



情報学部
先輩に聞く!



Interview

いろいろな学問に 広く触れ、今の仕事への 対応力が養われました

理系・文系関係なく自分の好きな テーマを学べる学部

社会情報学部は、文系の学問を幅広く学べることや興味のあるテーマの専門分野が学べるゼミがあったこと、そしてやはり地元という安心感があり、群馬大学を選びました。もともと公務員を目指していたわけではありませんが、ゼミで所属した公共政策研究室では、フィールドワークで自治体の職員の方と連携して地域活性化の事業を行うなどの活動があり、今の仕事に繋がっています。大学時代にいろいろな学問に広く触れたことで、多岐にわたる公務員のマルチタスクに対応する能力が培われたと思っています。

高校時代は理系だったのですが、受験勉強をしてゆく中で、自分には理系よりも文系の方があっているんじゃないか、と高校3年生の夏から方向を変えました。社会情報学部は、文系の学生が多かったですが、カリキュラムの内容には情報など理系の要素も多くあり、理系を学んできた学生もいました。現在は情報学部になって、理工学部の情報分野とも融合したということなので、その要素は強くなっているんじゃないでしょうか。

最適な環境でのびのびと学ぶことが できた

社会情報学部の特徴は、たくさんの選択肢の中から、自分の興味に応じて深く学ぶことができることや、違う選択や進路を目指す学生同士が交流できることだと思います。

自分もゼミの名物行事だった、グループで論文を書き上げるという秋期論文で、慣れない作業のなか非常に苦労しましたが、メンバーと協力し、先生からの愛のムチを受けまくり(笑) なんとか形にできたという達成感を得ることができました。

学部全体の人数もそれほど多いわけではなく、男女比率もほぼ半々、程よい大きさのコミュニティとして、まるで中学校のような楽しさの中で学べたと思います。学生も先生ものびのびして、困ったことや頼りたいことがあった時には、普段あまり接点のない先生も快く相談に乗ってくれました。自然の多い広いキャンパスで、図書館などの学習環境も整っていますし、サークルなどの課外活動も非常に多い。サークルで交流した仲間とは今でも頻りに会っています。

大学を学問を学ぶ場として捉えるか、就職の通過点と捉えるのか、人それぞれかもしれませんが、その両方で群馬大学は非常に優れた大学だと思います。国立大学として、学びや学生生活の充実、就職活動のしやすさなどを考えてもコストパフォーマンス最強の大学ではないかと。自分は群馬大学で学んで本当に良かったです。

稲村 颯貴さん Inamura Souki

勤務・群馬県 知事戦略部 戦略企画課
社会情報学部 情報行動学科 (当時)
平成27年度卒業
(群馬県立太田高等学校 出身)



— 大学生活に役立つ施設も —
こんなに充実!



FACILITIES
01
多目的複合施設
大学会館



アトリウムラウンジ



多目的ホール



売店



学生食堂

大学会館には、学食やレストランはもちろん、書籍や雑貨をそろえた生協の売店があります。ラウンジは学生や教職員の交流の場として利用され、ミュージックホール（多目的ホール）ではセミナーなどが頻りに開かれています。



FACILITIES
02
完全自動運転など、
次世代の交通のための研究施設
次世代モビリティ社会実装
研究センター(CRANTS)



シミュレーション室



見学会の様子

次世代モビリティ社会実装研究センターは自動運転自動車をはじめとする未来の交通手段を研究するセンターです。建物の中には自動運転自動車を整備改造するための車両整備開発室をはじめとして、遠隔操作遠隔操縦のための設備やシミュレーション室など、高度な設備が備え付けられており、多くの企業との共同研究を行っています。
また、公的な研究機関としては国内最大規模の約6,000mの専用試験路が併設されており、さまざまな技術課題に対応した実験を行うことができます。

<https://crants.opric.gunma-u.ac.jp>



実験車両

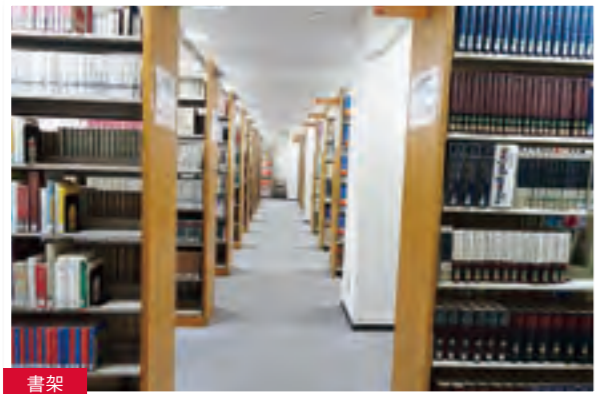


超小型モビリティ



公道での実験

— 大学生活に役立つ施設も —
こんなに充実!



書架



閲覧室

1人用のキャレデスクもあります。

FACILITIES
03

あらゆる学術ニーズに応える「知」の集積施設

総合情報メディアセンター
(中央図書館／情報基盤部門)

総合情報メディアセンターには、図書館と情報基盤部門があり、教育や研究、社会貢献活動を支援しています。図書館は各キャンパス（荒牧、昭和、桐生）にあります。荒牧キャンパスの中央図書館では、学術書を中心に30万冊以上の図書を扱っており、雑誌等もあります。館内にはWi-Fi環境が整備されており、どこでも無線LANに接続でき、検索や学習を行うことができます。また、ラーニングcommons「アゴラ」というディスカッションしながら学習できるエリアや、定期的に展示物を替えるギャラリーも備えています。そのほか、学生の皆さんにおすすめの資料を展示しているコーナーもあります。情報基盤部門では、ネットワークの管理、各種ITサービスの提供を通じて、本学の情報化と情報セキュリティ体制の強化を進めています。荒牧、昭和、桐生の各キャンパスに、利用者対応のための職員が配置されています。

<https://www.media.gunma-u.ac.jp/>



ラーニングcommons「アゴラ」

数人で相談しながら学習できるスペースです。



光直取ネットワーク

キャンパスのネットワークが安心して使えるよう、日々管理・運用を行っています。



リフレッシュコーナー

当日の新聞と飲料の自動販売機があります。



ギャラリー

学内外の機関と連携して、さまざまな企画展示を行っています。



附属小学校におけるプログラミング教育



オンサイト施設

独立行政法人統計センターの有する調査票情報を提供

FACILITIES
04

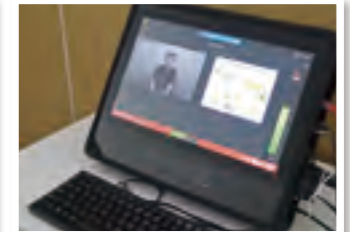
Society5.0を支える教育研究組織
数理データ科学教育研究センター

数理データ科学教育研究センターは、超スマート社会(Society 5.0)の基盤支援に向けて情報数理およびデータ科学を中心とした情報学分野の教育を展開するとともに、これらの素養を持った人材の育成および研究の推進を図ることを目的とした教育研究組織です。

<https://www.cmd.gunma-u.ac.jp>



スタジオにて全学部学生用のe-learning教材を作成



e-learning教材作成用の専用端末

FACILITIES
05

群馬の食は世界を目指す
群馬大学の新しい地域貢献のかたち
食健康科学教育研究センター

食健康科学教育研究センターは、「食と健康」に関わる研究の推進および専門人材の育成により、大学の教育研究および社会貢献活動等の向上に資するとともに、地方公共団体および地方産業界等と連携して、地域産業の振興および社会における健康増進に寄与することを目的とした教育研究組織です。

<https://www.cfw.gunma-u.ac.jp/>



実験の様子



群馬県農業技術センターとの研究連携に係る覚書を締結



食品産業界のお話を熱心に聞く学生たち



リカレント教育

昭和キャンパス

■ 群馬県前橋市昭和町3-39-22

■ 医学部医学科、保健学科の学生が集うキャンパス。

■ 医学部附属病院、生体調節研究所、重粒子線医学センターなどの医療や研究も整っています。



1 基礎講義棟

2 保健学科棟

3 ミレニアムホール

4 石井ホール



5 学生食堂・売店

6 総合情報メディアセンター
(医学図書館/情報基盤部門昭和分室)



7 アメニティモール
(コンビニ・レストラン等)

8 刀城会館



9 重粒子線医学センター
(重粒子線照射施設)

10 生体調節研究所

11 医学部附属病院



- 電車** ● JR両毛線にて前橋駅下車、北方へ4km
- バス** ● JR前橋駅北口2番乗り場 (関越交通バス)
● 全線「群大病院入口」下車 (所要時間約13分+徒歩6分)
● 群大病院行・群大病院經由群馬大学荒牧、群大病院・南橋団地經由群馬大学荒牧、群大病院經由南橋団地行「群大病院」下車 (所要時間約15分)
● JR前橋駅北口3番乗り場 (日本中央バス)
● 群馬総社駅線「群大病院」下車 (所要時間約15分)



School of Medicine, Faculty of Medicine

医学部 医学科




北関東を代表する国立大学医学部 北関東に広がる強力な関連医療機関ネットワーク

教養教育から専門基礎・臨床にわたる6年間のカリキュラムを通し、科学的知 (Science) と倫理 (Ethics)、技能 (Skill) について広く学び、臨床・研究・行政・教育などさまざまな分野で「世界でも地域でも活躍できる医師」を育成しています。特に、医療の質・安全学については全国に先駆けて講座を設置し、医療安全教育・多職種連携教育の充実を図っています。

2020年度入学生からカリキュラムを刷新し、医師としての資質を涵養する教育にさらに力を入れています。4年次からの診療参加型臨床実習では附属病院だけでなく県内各地域の多くの医療機関の協力の下、地域の特性に応じた医療について学び、医師に必要とされる技能を修得できる体制を整えています。

▶ **医学部医学科 HP**

<https://www.med.gunma-u.ac.jp/>

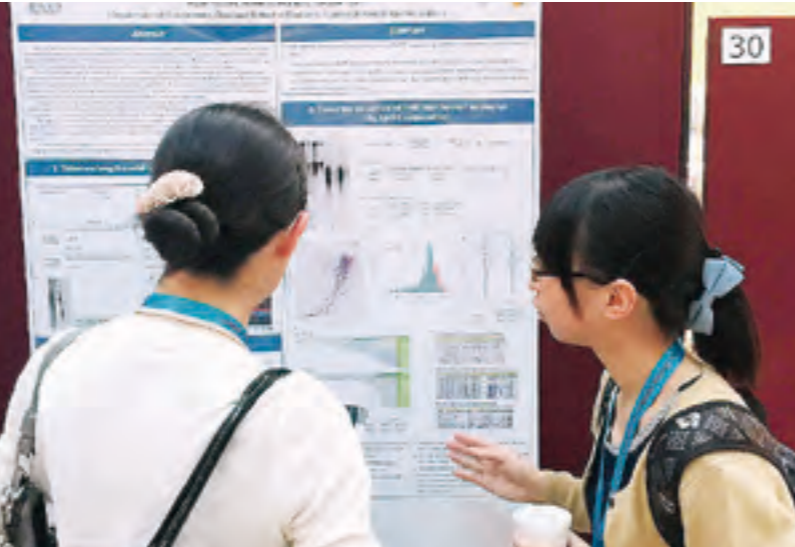


取得できる資格

医学部医学科を卒業することが医師国家試験の受験資格となり、医師国家試験に合格すれば医師免許を取得できます。なお、医師免許取得後に診療行為を行う場合には、所定の2年間の医師臨床研修を修了していることが法律で義務付けられています。このため、卒業生の多くは、卒業後すぐに臨床研修病院での2年間の研修を行うことを選択しています。臨床研修修了後は、希望する分野の専門医資格の取得や、研究・大学院進学など、それぞれのキャリア・プランに応じて進路を決めています。

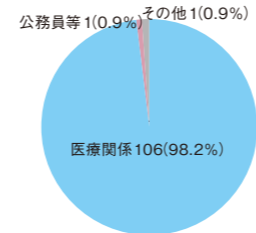
医師国家試験受験資格

将来は、①主に患者さんの診療に携わる臨床医、②医学研究を行う研究医、③厚生労働省や保健所などで医療行政に携わる医師、④医学教育に携わる医師などとして社会で活躍することができます。



▶▶ 医学部医学科

【2021年度実績】
卒業生数 108 (2021年度) 単位: 人



新卒者の医師国家試験受験者数と合格者数推移

	受験者数 (人)	合格者数 (人)	群大合格率 (%)	全国合格率 (%)
2022	108	107	99.1	95
2021	136	124	91.2	94.4
2020	118	113	95.8	94.9

■ 主な就職先 (2021年度)

【群馬県】群馬大学医学部附属病院、前橋赤十字病院、国立病院機構高崎総合医療センター、公立藤岡総合病院、群馬中央病院、伊勢崎市民病院、SUBARU健康保険組合太田記念病院、済生会前橋病院、利根中央病院、公立館林厚生病院、桐生厚生総合病院、国立病院機構渋川医療センター、公立富岡総合病院 等

【栃木県】自治医科大学病院 等

【東京都】東京大学医学部附属病院、国家公務員共済組合連合会虎の門病院、東京慈恵会医科大学附属病院、多摩北部医療センター、国立病院機構災害医療センター、東京都済生会中央病院、板橋中央総合病院、公立昭和病院、青梅市総合病院 等

【埼玉県】自治医科大学附属さいたま医療センター、埼玉メディカルセンター、埼玉協同病院、川口総合病院、深谷赤十字病院、熊谷総合病院、みさと健和病院 等

【千葉県】千葉大学医学部附属病院、国立病院機構千葉医療センター、千葉労災病院、新東京病院 等

【神奈川県】横浜市立大学附属病院、横浜市立大学附属市民総合医療センター、横浜市立みなと赤十字病院、横浜労災病院、済生会横浜市南部病院、川崎協同病院、藤沢湘南台病院、湘南藤沢徳洲会病院、相模原協同病院、厚木市立病院、大和市立病院 等



昭和
キャンパス
Showa Campus

School of Medicine, Faculty of Health Sciences

医学部 保健学科

国際的保健学研究拠点 チーム医療教育
高度専門医療人養成 地域包括ケアの推進

保健学科では、①高度化・専門化する保健医療を担う人材、②地域完結型医療教育・研究を支える人材、③超少子高齢社会や国際社会で活躍する人材の養成、④チーム医療教育に力を入れています。看護学専攻では看護師、保健師、助産師を、検査技術科学専攻では臨床検査技師、細胞検査士を、理学療法学専攻では理学療法士を、作業療法学専攻では作業療法士を養成しています。どの専攻でも高い国家試験合格者を誇っています。また、卒業後は大学院への進学を奨励しています。

▶ 医学部保健学科 HP
<https://www.health.gunma-u.ac.jp/>

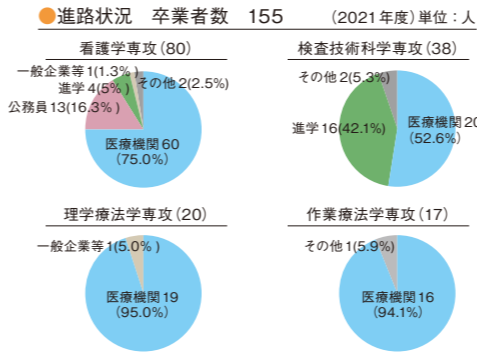


取得できる
国家試験受験資格など

看護学専攻	■看護師 ■保健師コース(定員40名) ■助産師コース(定員8名)
検査技術科学専攻	■臨床検査技師 ■細胞検査士養成コース(定員5名程度)*
理学療法学専攻	■理学療法士
作業療法学専攻	■作業療法士

*日本臨床細胞学会の認定する専門資格

▶▶ 医学部保健学科



(全国新卒者合格率比較)

専攻	国家試験種別	2022年 国家試験		2021年 国家試験		2020年 国家試験	
		群大合格率	全国合格率	群大合格率	全国合格率	群大合格率	全国合格率
看護学	看護師	100.0	93.0	98.7	95.4	98.7	94.7
	保健師	100.0	99.7	97.5	97.4	100.0	96.3
	助産師	100.0	96.5	100.0	99.7	100.0	99.5
検査技術科学	臨床検査技師	84.2	86.4	90.2	91.6	92.5	83.1
	理学療法士	95.0	88.1	94.7	86.4	100.0	93.2
作業療法学	作業療法士	93.8	88.7	100.0	88.8	95.5	94.2

■ 主な就職先 (2021年度)

群馬大学医学部附属病院、東京大学医学部附属病院、東京医科歯科大学病院、埼玉県立小児医療センター、信州大学医学部附属病院、公立藤岡総合病院、前橋赤十字病院、済生会前橋病院、埼玉赤十字病院、上尾中央総合病院、群馬県、高崎市、太田市、千葉県、小山市、行田市、足利赤十字病院、安曇野赤十字病院、秋田赤十字病院、老年病研究所附属病院、黒沢病院、新潟市民病院、中津川市民病院、上尾中央医科グループ、製鉄記念室蘭病院、伊那中央病院、株式会社BML、中部公衆医学研究所、角田病院、榎名荘病院、関越中央病院、前橋協立病院、東前橋整形外科病院、あさくらスポーツリハビリテーションクリニック、相澤病院、株式会社リクルート北関東マーケティング、長野市民病院、医療社団法人日高会、脳血管研究所美原記念病院、東京湾岸リハビリテーション病院、東京品川病院、茨城リハビリテーション病院、富山県リハビリテーション病院、こども支援センター、山梨リハビリテーション病院



Interview

さまざまな学びや経験を通して、自分の可能性を広げたい

国際看護師を目指したいと思って

中学生時代に海外派遣事業でタイとカンボジアを訪問し、JICAの事務局でアジアの医療環境が厳しいことを教わって以来、国際看護師になって困っている人



の役に立ちたいと思っていました。高校生の時にはJRCでボランティア活動も経験しました。その後、父親が倒れたとき、「私に知識があれば何かできたのに」と思ったことも、看護師を目指そうと思ったきっかけです。

群馬大学を目指したのは、敷地内に病院があって実習環境が整っていると思ったから。キャンパスの落ち着いた雰囲気も好きです。特に、昭和キャンパスのイチョウ並木には癒されますね。静かで勉強しやすい環境が整っています。1年次には、荒牧キャンパスで他学部の人たちと交流できるのも総合大学の利点です。

私は海外の医療やボランティア活動にも興味があったので、留学やボランティアの情報などを大学からメールで知らせていただけるのもありがたいです。コロナ禍でなかなか集まれない状況もありましたが、イングリッシュカフェというオンラインの集まりでは、他大学や世界中の人とつながれます。

今まで学んできた講義の中で特に印象深かったのは、2年次の基礎看護実習です。初めて患者さんを受け持ち、緊張や不安でいっぱいでした。でも、その患者さんが検査時の見学を勧めてくださったり、病態や治療の詳細を教えてくださいました。積極的に実習に協力してくださったんです。私が計画したケアで喜んでく

櫻井 愛弓さん Sakurai Manami

医学部 保健学科 看護学専攻 2年
(群馬県立沼田女子高等学校 出身)

ださったことにも大変やりがいを感じました。チーム医療には患者さん本人も含まれることを実感できましたね。

臨床医学では、「知らなかったことを知る」楽しさにも気づきました。医療ドラマを見て、疾患や治療の内容がわかるようになり、ドラマの見方も変わってきました。

幅広く知識を付け、自分の道を模索したい

入学した頃は国際看護師を目指していましたが、最近では精神看護学の分野にも興味があります。また、病院の看護師のほかに保健師や訪問看護師など、病院以外にも働く場があることも知りました。これからもっとたくさんのことを学び、幅広く知識を付け、経験も積んで、自分の進むべき道を模索していきたいと思っています。

群馬大学は、ユニークな先生方が多く、自分次第でさまざまな学びや経験を得る機会が豊富にあり、自分の可能性を広げられる大学だと思います。学習面ではLMSという学習管理システムが導入されていて、講義後にアンケートや質問を書き込むと、次回の講義で先生が答えてくださるのでしっかり学習できます。また、心配事や相談事があるときにも、チューター制度があり、親身になって相談に乗ってくれる先生方がいらっしゃるので安心です。

みなさんも、群馬大学で学び、さまざまな出会いを通じて、自分の可能性に挑戦してみませんか。



※学年は取材時のものです。



Interview

北関東に広くネットワークを持つ 群馬大学の強みを感じた

地元の大学で、地域医療の中核を担ってきた実績があることから群馬大学を志望しました。豊かな自然の中でスポーツやアウトドア、温泉など、学生生活を充実させられる環境も、群馬大学の魅力だと思います。

医学科での勉強は、国家試験に向けた専門科目が多くを占めていました。加えて、研究室での基礎研究の実習や病棟で臨床実習を行い、医学・医療の実践に必要な多くのことを学びました。高度な研究や診療に携わる先生方が、熱意をもって最新の研究や臨床現場での経験則などを丁寧に教授して下さいます。疑問点があるときにも、親身に対応して下さり、とても心強かったです。

特に印象に残っているのは、2年次の解剖学講座です。4人1組で約1カ月かけてご遺体を解剖するのですが、医療職の専門性を改めて意識する大変貴重な機会となりました。4年次から6年次にかけては病院での臨床実習があります。実際に患者さんを受け持ち、指導医の先生と一緒に疾患の評価や治療方針の検討等をしていきます。患者さんやさまざまな職種の方々と直接やり取りをし、その中でしか学べないことがたくさんあって毎日が新鮮でした。現在の医療は、患者さん本人を含めて医療チームを構成し、協働して治療に当たることが大切です。出会った方々がどのような考えや価値観を持ち、自分はどの向き合えばよいかを考えることを大事にしました。実習先は群馬大学附属病院以外に、県内外の協力施設もありました。

さまざまな医療現場で学べるのは、北関東に広くネットワークを持つ群馬大学の強みだと思います。

高度化・専門化する医療のなかで 実力を発揮したい

学業以外にも医学科学友会に入り、学習環境の整備やサークル活動の支援、行事の手伝いなどを行いました。同窓会報の編集委員も務め、県外で活躍されているOBの先生方にインタビュー取材したのも良い経験でした。

学生時代に得た知識や技術は、現在の診療や研究の現場にそのまま活かしていますし、活かさなければならないという責任も感じています。また、恩師や先輩・友人には、現在でも仕事の相談等でよく助けられています。学生時代に人間関係を築くことも大切ですね。

現在は卒業後3年目で、内科専門医資格の取得を目指し日々経験を積んでいる最中です。まだまだ長く険しい道のりが続きますが、これまでに培ったものを信じて、周囲から信頼される医師を目指し精進していきたいと思っています。

群馬大学は皆さんの「学びたい」「社会に貢献したい」という熱意に必ず応えられる場所です。受験は長丁場で苦しいと思いますが、その先にあるものを信じて、心身の健康に気をつけながら頑張ってください。

高橋 慶一郎さん Takahashi Keiichiro

勤務・群馬大学医学部附属病院 内分泌糖尿病内科
医学部 医学科
平成31年度卒業(群馬県立高崎高等学校 出身)



学生時代に得た知識や技術、築いた人間関係が、医療現場で生きている

大学生活に役立つ施設も こんなに充実!

FACILITIES
01

日本をリードする 内分泌・代謝学研究所の拠点 生体調節研究所

生体調節研究所とは?

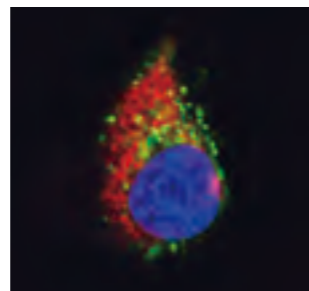
生体調節研究所は1994年に、前身である内分泌研究所(1963年に設置)が改組され、誕生しました。内分泌研究所が開設された当時は、群馬県内において海藻の摂取不足による甲状腺疾患の方が多かったため、甲状腺ホルモンの異常に起因する疾患の研究を行っていました。ホルモンとは甲状腺や膵臓などの特定の器官で作られ、体内を循環して血糖値や代謝などさまざまな生理現象を調節する生理活性物質のことです。その後、内分泌ホルモンやサイトカインなどの生理活性物質の作用や代謝の仕組みをより広い観点から理解するために、現在の生体調節研究所へと生まれ変わりました。改組後は、近年社会問題化している糖尿病、脂質異常症、肥満症、がんなどといった生活習慣病が内分泌・代謝系の異常により発症することから、これらの病因や病態の解明を中心に研究に取り組んでいます。



生体調節研究所では何を研究しているのか?

生体調節研究所では、膵臓で作られ血糖値の調節に働くインスリンやグルカゴン等といった内分泌ホルモンの研究に加え、最近注目を浴びつつある脂肪細胞の研究も行っています。また、最先端のゲノム編集技術を駆使した新たな代謝制御法やエピゲノム改変法等の開発も行っています。さらに、さまざまなモデル生物を用いて生体恒常性を維持する普遍的な分子メカニズムの解明にも取り組んでいます。最近では、「食事と肥満」、「肥満と腸内細菌」、そして「iPS細胞等を用いたヒト膵臓再生」などの最先端研究も開始しています。

<https://www.imcr.gunma-u.ac.jp/>



膵β細胞内のインスリン顆粒



FACILITIES
02

安全・納得・信頼の医療を提供し、次代を担う人間性豊かな医療人を育成する

医学部附属病院



<https://hospital.med.gunma-u.ac.jp/>



医学部附属病院は、「大学病院としての使命を全うし、国民の健康と生活を守る」という理念の基に、大学病院の役割である先進的な医療の実践・開発・教育を推進し、皆さんが安全で健康な生活がおくれることを目的とします。診療については、群馬県で唯一の特定機能病院として地域医療に貢献するとともに、一般医療機関では行い難い高度医療を提供する医療機関として活動し、研究については、先進医療の開発を中心とした臨床研究を行い、教育については、医学部等の要請による臨床実習および卒業後の初期教育を主体としています。

病院には、外来診療棟をはじめ、各種の診療棟・病棟、アメニティモール等が整備されています。このほか、院内では、患者さんのために音楽コンサートの開催や七夕飾りの展示等を随時行っています。また、本学の卒業生でもある星野富弘氏の作品を、アメニティスペース尾瀬に常設展示しており、患者さんをはじめご家族や教職員の心を和ませています。



外来ロビーの様子

FACILITIES
03

日本初の大学併設型 重粒子線医学センター

重粒子線医学センターは、重粒子線(炭素イオン)を用いたがん治療施設です。重粒子線治療は、重粒子を光の70%のスピードに加速して照射し、体の深部のがんに強いダメージを与え、メスを使うことなく痛みを伴わずに、体内のがんを治療できます。

本学の治療装置は、群馬県との共同事業として建設に着手しました。日本で初めて大学病院に併設された施設として、2010年に治療を開始し、海外からも患者さんを受け入れています。

県内外の医療機関と連携して、高度で統合的ながん医療体制を構築するとともに、欧米やアジアの医療機関と活発に交流し、先進的重粒子線治療の国際拠点として、人材育成や共同研究をおこなっています。

学生の臨床実習にも活用され、施設見学会では、多くの市民にご参加いただいています。

<https://heavy-ion.showa.gunma-u.ac.jp/>



桐生キャンパス

■ 群馬県桐生市天神町 1-5-1

■ 理工学部の学生が2年次から学ぶキャンパス。



1 体育館



3 総合情報メディアセンター
(理工学図書館/情報基盤部門桐生分室)



2 総合研究棟



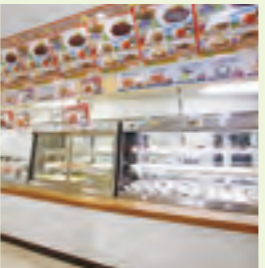
4 桐園(喫茶)



5 正門



6 工学部会館 (売店・学生食堂)



8 しだれ桜
(キャンパスのシンボル のひとつ)



7 同窓記念会館
(理工学部の前身:旧桐生高等染織学校舎の一部。登録有形文化財)

ACCESS



太田キャンパス

■ 群馬県太田市本町 29-1

■ 太田市にも理工学部のキャンパスがあり、産学連携とリカレント教育の拠点として研究等が行われています。



ACCESS



- 東武鉄道太田駅北口下車、徒歩約10分(市立太田小学校となり)
- 北関東自動車道 太田桐生ICから約10分

電車

- JR両毛線にて桐生駅下車、北方へ約2.5km
- 東武桐生線にて新桐生駅下車、北方へ約4.1km

バス

- JR両毛線 桐生駅 北口乗り場(おりひめバス)
- 中央幹線(群大系統)・梅田線 「群馬大学桐生正門前」下車(所要時間約7分)
- 菱線「群馬大学桐生東門前」下車(所要時間約7分~20分 ※乗車する曜日・系統によって異なります)
- 東武 新桐生駅乗り場(おりひめバス)
- 中央幹線(群大系統)「群馬大学桐生正門前」下車(所要時間約20分)



桐生
キャンパス
Kiryu Campus

School of Science and Technology


理工学部

- 分野を超えた幅広い学びで社会に求められる人材へ
- 企業と連携した問題解決型授業で実践力が身につく
- メンター制により教員が履修をサポート

群馬大学理工学部は創立100周年を超え、今まで多くの有名な技術者・研究者を輩出してきました。持続可能な社会や Society5.0を支える科学技術を幅広く学ぶことを通じて、今後大きく変わっていく産業構造に対応し、社会で活躍できる実践力をもった人材の育成を目指しています。

理工学部は今まで高い進学率を誇っている他、就職率も高く、多くの学生が一部上場企業へ就職しています。また、在学生の4人に1人は女子学生という女子学生の比率が高いのも特徴で、卒業後は女性研究者・技術者として活躍しています。

▶ 理工学部 HP
<https://www.st.gunma-u.ac.jp/>




類・プログラム紹介

入試は類別で行います。1年次は全員で理学系基礎科目等を、2年次は類別で類基礎科目を学びます。その後、2年次後期～3年次に学びたいプログラムを選択します。

物質・環境類

持続可能な社会を支えるための基礎となる化学・生物・物理を融合した科学技術について、幅広く学べます。

応用化学プログラム

物質科学と生命科学から持続可能な社会の基盤を生み出す
 物質の合成・構造・性質に関する分野や遺伝子、生命科学分野について学びます。
 ●卒業後の進路
 ▶大学院進学 ▶化学系企業 ▶食品・化粧品系企業 ▶医療・製薬系企業 ▶材料系企業

食品工学プログラム

食品生産工学・食品科学のプロフェッショナルを目指す
 食品機能を科学的に理解するとともに、食品の創出に関わる生産工学を学びます。
 ●卒業後の進路
 ▶大学院進学 ▶食品系企業 ▶エンジニアリング系企業 ▶材料系企業 ▶化学・化粧品系企業

材料科学プログラム

あらゆる材料を網羅した総合型材料開発を目指す
 物質科学ならびに金属工学を基軸として、材料開発に関する基礎から最先端の知識と技術を体系的に幅広く学びます。
 ●卒業後の進路
 ▶大学院進学 ▶化学・材料系企業 ▶電機・電子系企業 ▶自動車系企業 ▶機械・精密機器系企業 ▶医療機器系企業

化学システム工学プログラム

スマート社会を実現するデバイス、装置、プロセスの開発を目指す
 物質・エネルギーを無駄なく、クリーンに利用・生産するための知識と技術を学びます。
 ●卒業後の進路
 ▶大学院進学 ▶化学系企業 ▶エンジニアリング系企業 ▶エネルギー関連企業 ▶材料系企業

土木環境プログラム*

自然環境との調和を図り、国民の安全を守る
 自然災害からの防御や社会的・経済的基盤の計画・整備・維持管理のための技術を学びます。
 ●卒業後の進路
 ▶大学院進学 ▶公務員(土木職) ▶建設・防災・環境系企業 ▶社会インフラ企業(鉄道・道路・ライフライン等)

*土木環境プログラムと機械プログラムはJABEE(日本技術者教育認定機構)認定のプログラムです。

電子・機械類

Society5.0を支えるIoTやロボットなど物理・数学を基礎とした科学技術について、幅広く学べます。

機械プログラム*

エネルギー・材料加工などの幅広い技術を身につけ、世界に通用する技術者の育成を目指す
 エネルギー変換技術や材料加工技術、機械・材料・熱・流体力学技術について学びます。
 ●卒業後の進路
 ▶大学院進学 ▶自動車・輸送機器・一般機械の製造企業 ▶精密・光学・情報・医療機器製造企業

知能制御プログラム

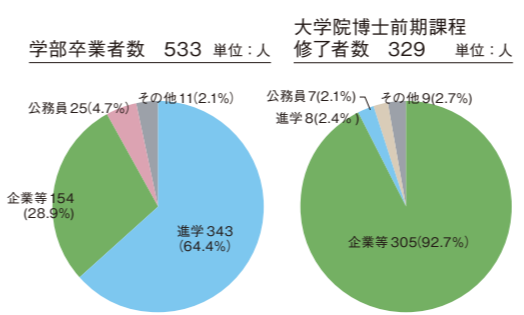
超スマート社会を創造する
 超スマート社会を創造する知能化メカトロ制御技術、IoTによるエネルギー制御技術について学びます。
 ●卒業後の進路
 ▶大学院進学 ▶精密機器・精密加工系産業 ▶メカトロ・電機系企業 ▶医療機器関連企業 ▶自動車・輸送機器・一般機械製造企業

電子情報通信プログラム

電気電子工学のプロフェッショナルを目指す
 最先端のデバイス、量子ビーム技術、通信技術、IoTシステムなどの、モノづくりにかかわる情報技術やAI技術について学びます。
 ●卒業後の進路
 ▶大学院進学 ▶電子部品・電気機器製造業 ▶情報通信システム ▶自動車・一般機械製造企業



▶▶ 理工学部



■ 主な就職先

【物質・環境類】
 アキレス(株)、王子製鉄(株)、鹿島建設(株)、(株)キャピタル・アセット・プランニング、群馬銀行、(株)コムテック、(株)SUBARU、住友ケミカルエンジニアリング(株)、(株)第一生命情報システム、太陽誘電(株)、(株)日水コン、ニプロ(株)、日本道路(株)、白十字(株)、(株)日立プラントサービス、三菱電機ホーム機器(株)、山田製作所、群馬県庁、警視庁、国土交通省関東運輸局、高崎市役所、千葉県庁、栃木県庁、林野庁

【電子・機械類】
 NEC ネットズエスアイ(株)、(株)NTT東日本一関信越、NTT東日本グループ<エンジニア>、(株)ZOZO、キャノンITソリューションズ(株)、サンデンホールディングス(株)、芝浦機械(株)、セイコーエプソン(株)、太陽誘電(株)、日本信号(株)、東日本電気エンジニアリング(株)、東日本旅客鉄道(株)、(株)日立産業制御ソリューションズ、ファナック(株)、本田技研工業(株)、マックス(株)、山崎製パン(株)、両毛システムズ(株)、足利市役所、埼玉県庁

※企業は50音順で掲載しています。
 ※現学科体制の進路データ・就職先を類に換算しています。



理工学部
在学生に聞く!

Interview



自然あふれるキャンパス 地域とのネットワークも厚い大学

幼い頃から環境に興味があり、知識を深めたいとの思いから理工学部へ進みました。群馬大学に決めたのは、桐生市で生まれ育った私にとって身近な大学であり、自然豊かな環境だったことが1番の理由です。地元の企業や行政と連携した取り組みも盛んに行っており、地域からの信頼が厚いというところも決め手となりました。

1年次は荒牧キャンパスへ通いましたが、おしゃれな構内で自分の思い描いていた学生生活を送ることができました。一方、2年次から通った桐生キャンパスは、設備環境が整っていることもあり、研究施設というイメージが強かったです。でも、そのおかげもあって「より専門的なことが学べる」という意識づけが自然とでき、勉強や研究に打ち込む構えができたように思います。

実際、2・3年次は授業も忙しく、内容も複雑になっていきました。私は物理の授業が苦手なのですが、講師陣の丁寧かつ具体性ある指導のおかげで深い理解を得ることができました。知的好奇心の旺盛な先生も多く、積極的にそして楽しく研究されている姿からは日々たくさんの刺激をいただいています。

現在は、流域環境学を専門とする研究室に進み、河川洪水の原因となる堆砂の解決を目的とした研究を行っています。生活に関わる問題だからこそやりがいを感じていますが、実験は準備や計測に時間がかか

柳 奈那さん Yanagi Nana

理工学部 環境創生理工学科 社会基盤・防災コース 4年
(伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校 出身)

知性と可能性を
高められる豊かな環境で
研究の奥深さや楽しさを実感

※学年は取材時のものです。

るので、いかに効率よく進められるかも大切です。そのため、事前に頭の中でシミュレーションしてから実験を進めるほか、疑問や不安があったら周囲にアドバイスをもらうよう心掛けています。研究室は和気あいあいとしているので、気軽に相談できる雰囲気にも助けられています。特に理工学部の学生は、学業やプライベートに一生懸命な友人が多いので、私も影響を受けながらメリハリある学生生活を送ることができていると感じています。

海外への挑戦も後押ししてくれる 充実のプログラム

留学プログラムが充実しているという点も群馬大学の大きな魅力ではないでしょうか。私は、入学時に『グローバルフロンティアリーダー (GFL) 育成プログラム』について知り、もともと留学に興味があったことから参加しました。結局、タイミングが合わず留学はできませんでしたが、GFLの理工学部生は通常より1年早いタイミングで研究室配属となるため、より長く研究に取り組めたことはいい経験となりました。来年度より修士課程に進み、今の河川管理に関する研究を続けたいと思っていますが、大学院では私の所属する学科でチャレンジできる留学制度にも挑戦するつもりです。そしてゆくゆくは、自分が学んできたことを生かせるような県内企業に就職したいと思っています。その際も、地元企業への就職が強い群馬大学の利点を感じられるのではないかと期待しています。

受験を考えている方は、大学の学びが後の就職活動や将来に直結するという点を考え、自分はどんなことを学びたいのかしっかり考えることが大切だと思います。群馬大学は、その興味をさらに深めてくれる環境が整っています。ぜひ、自然豊かなキャンパスで充実した学びを実感してください。



理工学部
先輩に聞く!

Interview

新しい価値を生み出せる ようなエンジニアに

より多くの経験や学びが 社会へ繋がっている

現在の仕事は自動車の電子制御ユニット(※)の研究開発ですが、大学時代に研究した内容とリンクしている部分も多くあります。電気回路やソフトウェアのプログラムなど1、2年次で基礎を学び、学年が上がるとそれを実験で検証する、そして修士課程でさらにテーマを絞って研究を深めるという流れや研究テーマは、今の仕事にも繋がっているのかなと思います。学部の基礎で学ぶことは既に答えがあるものですが、研究では社会のニーズを考え、開発されていないことに対してアプローチすることになります。これは社会に出て仕事をする上でも、同じアプローチです。

社会からは、何を研究しているのか、どのような論文や成果を出したかなどが評価ポイントになると感じます。その点では群馬大学はきちんと取り組むことができる環境が整っています。基礎として実験や講義を通じて幅広く学び、研究室では複数の企業と共同研究をさせていただくこともできました。また、研究室だけでなく、さまざまな外部講師の方に相談できる機会もあります。実際に企業で活躍されていた方に指導していただけたのは、エンジニアを目指していた自分にとってはとても良い環境でした。

適切な目標設定で達成させる プロセスが学べた

もともと海外で論文発表をしたいと考えていたので、積極的に国際学会に論文を出していました。共同研究をさせていただいた企業の方に定期的に進捗報

告を行い、アドバイスをいただきながら理論・法則を構築し、その妥当性をシミュレーションや実機検証で示す。研究成果をまとめて国際会議へも提出しました。採択率が30%程度というハードルの高い学会でしたが、いろいろな方にご協力いただいて、採択されました。

価値のあることをきちんと突き詰めて研究する、ということを知り、群馬大学で学んだことで自分の研究や仕事に社会にどのように役に立つのかを常に考えるようになりました。これからの自動車は自動化や電動化などの技術進化で大変革期と言われていますが、まだまだ課題もあり、過去の経験が通用しない、何が正解か分からないようなことも出てきます。そのような中でも、自分で目標を適切に設定して、スピード感を持って課題をクリアしていけるようにしたいです。将来的には、自動車が単なる移動手段ではない+αの価値を創造できる空間にしたい、そうすることで多くの人に喜んでもらえるものづくりができるのではないかと考えています。

※エンジンやモーターなどをコントロールする電子制御部品

安部 文隆さん Abe Fumitaka

勤務・本田技研工業株式会社
工学部 電気電子工学科 (当時)
平成24年度卒業
大学院工学研究科 電気電子工学専攻 (当時)
平成26年度修了
(群馬県立太田高等学校 出身)

※2013年に工学部を理工学部に、大学院工学研究科を大学院理工学部に改組しました。



大学生活に役立つ施設も こんなに充実!

FACILITIES
01

最先端の研究を推進する多種多様な
高度分析機器を揃える基幹施設

機器分析センター

大学に行ったら、「まだ世界の誰も知らない発見をしたいな」とか「自然環境にやさしく、我々の生活が豊かになるような新しいものを開発したいな」といった夢があると思います。このような夢を叶える大事なものが何だろうと考えた時、3つくらいが思い浮かびます。1つ目は皆さん自身のがんばり、2つ目は頼りになる先生・友人・家族、そして3つ目は「研究に必要な先端分析装置」です。

現代の研究は、ナノメートルでものを見たり、目では見えないものを評価したり、短時間で100種類の化学物質を決定するなど、非常に難しいことが要求される時代です。

このような要求に応えることができる先端分析装置を扱うところが機器分析センターです。

理工学部には160名ほどの先生がいてその中の約60名の先生が、そして300名ほどの学生さんが機器分析センターを利用して、夢の実現を目指しています。

また、機器分析センターでは、2-3年生を対象に、先端分析装置を用いて、分析に関する本質的な理解・高い技術力・実務経験を有した即戦力学生を育成する「マイスター育成プログラム」も実施しています。(https://www.gunma-u.ac.jp/web_oc_2022/html/st_003.html)



機器分析センター入口



溶液核磁気共鳴装置



X線光電子分光分析



X線光電子分光分析装置の内部

<http://www.trcia.gunma-u.ac.jp/>



FACILITIES
02

アイデアをカタチにする工作・製作拠点

マシンショップ

マシンショップ(機械工作室)は、理工学部の学生の工作実習や実験装置の製作などのサポートを行っている施設です。

学生の皆さんは授業や研究を通して、いろいろな機械に接します。いろいろな分野の学生が多種多様な機械の使い方を学ぶことによって、機械工作に関する知識を養っていきます。機械の使い方についても、専門のスタッフが常駐しており安全な使用方法を詳しく学ぶことができます。学生向けの講習会も多数開催していますので、日々たくさんの学生が機械工作を学ぶためにマシンショップを利用しています。



学生がフライス盤にて研究用装置を加工している様子

<https://machine-shop.st.gunma-u.ac.jp/>



学生がNC研削盤にて実験・測定している様子



ワイヤー放電加工機(FANUC Robocut alpha-C400iB)

FACILITIES
03

知りたいことがそばにある 理工系専門知識・情報の集積基地 総合情報メディアセンター(理工学図書館/情報基盤部門)



図書館は、各キャンパス(荒牧、昭和、桐生)にあります。桐生キャンパスの理工学図書館では、特に理工系専門書の収集に力を入れており、理工系専門書だけでも11万冊以上の図書や雑誌を提供しています。

また、ここ数年は、自宅からもアクセスできる電子ブックの導入を進めており、紙の図書に限らず理工系専門書の充実を図っています。

館内には、開放的な空間の中で友達と話し合いながら学習できるラーニングcommonsや、個人で勉強できる閲覧室のほか、学修室というグループでの学習に利用できる個室や、クワイエットスタディゾーンという雑音なしで勉強に集中できる部屋も備えています。

<https://www.media.gunma-u.ac.jp/>



学修室



クワイエットスタディゾーン



電動集密書架

群馬大学の学生寮をご紹介します

群馬大学には、前橋地区に養心寮、桐生地区に啓真寮の2つの学生寮があります。それぞれの特徴や様子、イベントなどを、寮長さんがご紹介します。

「養心寮」



養心寮寮長
社会情報学部 社会情報学科 3年
藤森 麗奈さん
[長野県長野西高等学校出身]



収容人員	部屋タイプ	寄宿料(月額)	諸経費	居室設備
男子 74室 女子 62室	個室 約9㎡	4,300円	自治会費(年額) 4,800円 光熱水費(月額) 6,000円	エアコン インターネット端子 TVアンテナ端子

●原則として通学に2時間以上かかることが入寮申請の要件となります。

「啓真寮」



啓真寮寮長
理工学部 化学・生物化学科 3年
新井 真由さん
[埼玉県立熊谷女子高等学校出身]

収容人員	部屋タイプ	寄宿料(月額)	諸経費	居室設備
男子 65室 女子 24室 (変動あり)	個室(ワンルーム型) 約19㎡ 35室	25,000円	クリーニング代(入寮時) 25,000円 共益費(月額) 1,500円 光熱水費(月額) 6,000円程度(※)	エアコン インターネット端子 TVアンテナ端子 ミニキッチン IHコンロ ユニットバス 独立型トイレ 室内物干し
	個室(シェア型) 約18㎡ 54室	15,000円	クリーニング代(入寮時) 15,000円 共益費(月額) 1,500円 光熱水費(月額) 6,000円程度(※)	エアコン インターネット端子 TVアンテナ端子 室内物干し

※個人の使用量により異なります。



スポーツ大会でワイワイ



自治活動も積極的に



広い浴室

学生による自治寮とは

養心寮は学生自身がさまざまなルールを決めて運営している自治寮です。寮のある大学は多いと思いますが、自治寮は少ないかもしれません。学生同士で快適な生活ができるようにルールを決めているので、寮生はそれを守らなければなりません。

養心寮には伝統のようなものがあって、新入生が入ってくる前期は少し強面の男子学生が寮長に選ばれることが多いです。中にはわざわざ大学生っぽさを出すために髪の色を金髪にする人もいます(笑)。先輩としての威厳を示したいということなのですが、恐そうに見えて実はとても優しくったりするので、ギャップがあるのがおもしろいです。

寮でイベントを開催

養心寮ではさまざまなイベントを開催しています。私が養心寮に入った時は、新型コロナウイルス感染症で伝統的なイベントがすべて中止になってしまったのですが、今年は寮祭でスポーツ大会と後夜祭を開催しました。寮生同士が一層仲良くなった気がします。人数が多いので、全員が常にわきあいあいとしているわけではありませんが、イベントに参加したことで廊下ですれ違ったりしたときにお互い笑顔になったり、会話が弾むようになりました。

寮長ならではの悩みも

寮には、いろいろな学部の人がいるので、考え方もさまざまです。会議や意見をまとめる時にも、否定するのではなく、とに

かく話を聞くように心がけています。普段は上下関係や男女の壁がないので、困ったときや何かあれば気兼ねなく相談しあえる関係ですが、ルールを守らない人が居れば時には厳しく対処します。友だちや先輩後輩など関係なく、自身の行動が周りにどのような影響を及ぼすか考えてもらいます。

養心寮の今は

養心寮には現在、前橋地区の荒牧と昭和2つのキャンパスの学生112名が生活しています。男女の割合はおよそ1対1で、学部別では医学部が半分、そして残りの半分は共同教育学部と情報学部、そして理工学部の1年生です。養心寮での生活で良かったのは学部を越えて仲良くなれることです。「行ってらっしゃい」「お帰り」という声が聞こえてきたり、1年生と一緒に行く友だちの部屋のドアを「起きた?」と叩いているところなどを見ると微笑ましくなります。

寮でしか体験できない経験もある

養心寮の寮生は、友だちというより支えあいながら一緒に生活している「仲間」という言葉の方が合っているかもしれません。高校生の皆さんが想像する寮生活とは少し違うこともあるかもしれません。自治を維持するための活動に参加する必要もあります。でも寮生同士や地域の人との交流ができたり、寮ならではの体験ができます。一人暮らしではなかなか得られない体験ではないでしょうか。

もし養心寮に興味があればぜひ群馬大学を選択肢の一つに入れて欲しいです。

※学年は取材時のものです。

一人暮らしのような寮?

啓真寮は桐生の理工学部の学生の寮で、キャンパスも近く、安価で通学のストレスも無い、フロアで男女が分かれていて女子のフロアは男子禁制なので安心です。一人暮らしタイプの個室とキッチンなどが共用のシェア型に分かれています。シェア型はキッチンやお風呂などが共用ですが、食事は自炊の人もいれば、外食の人もいて、それぞれの生活リズムで暮らしやすいのではないのでしょうか。私も頑張っているだけで自炊しています。寮には管理人さんがいてくださるので、洗濯機の調子が悪いとか、困ったときには相談できるのが心強いです。出かける時などに声を掛けていただいたりするのには寮ならではのですね。門限も無いので部活動や研究で遅くても大丈夫です。

快適な共同生活のためには

私は寮長という役を先輩から引き継いだのですが、それほど役割が多いわけではなく、比較的緩いんです。共用部分を気持ちよくみんなが使えるように少し気を配ったり、避難訓練でアナウンスしたりしましたね。ただ、啓真寮は自由度が高いとはいえ、共同生活の場なので、基本的なルールを守り、周囲の人の迷惑になるようなことはしないということが必要だと思います。共用部分は使ったらきちんときれいにする、ということもそうです。寮の規則では寮生以外の人を泊められないと

※学年は取材時のものです。

というのは一人暮らしと違うところでしょうか。それと、留年したら退寮になってしまいます。

勉強とリラックスのメリハリも寮ならではの

普段勉強は、どちらかというと個室よりも共用部分であることが多いです。一人だと部屋の中でいろいろ誘惑がありますが、共用部分のラウンジでほかの人の目があって、だらけずに勉強できるんです。それでも集中できないときは学校が近いので図書館に行くこともあります。部屋はリラックスできる場所になっていますね。寮生同士の交流もあり、この前は共用部分のスペースを使って女の子たちで焼きたパーティーをしました。次は各自で作った得意料理を持ち寄ってお酒を飲む会などもやりたいです。

寮生活をぜひ満喫してほしい

寮のメリットはいろいろあります。常に誰かいるので、地震や停電があっても安心ですし、一人暮らしのような自由もありながら、でも寂しくない。そして何より寄宿料が安いことです。寮生のみなさんは先輩も後輩も、とても優しいです。寮ではたくさんの方がいる分、自然と友だちもできると思います。群馬大学の理工学部に合格して寮で会えるのを楽しみにしています。



明るい個室



シェア型のキッチン



共用スペースでゆったり



学生サポート — Student support —

学生支援センター

学生の個人的な問題に対する相談（修学相談・人生相談・生活相談など）に応じるため、「学生相談窓口」が学生センターと理工学部事務室にあります。また、助言を行うための全学的な機関として、荒牧地区（昭和地区含む）に学生相談室、理工学部学生相談室分室があります。

■学費（2023年度入学）

※共同教育学部・情報学部・医学部・理工学部

	入学料	授業料（年額）	その他経費
共同教育学部	282,000円	535,800円	46,660円
情報学部			48,660円
医学部医学科			304,300円
医学部保健学科			94,370円
理工学部			88,560円

■入学料・授業料免除制度

国の高等教育の修学支援新制度により住民税非課税世帯およびそれに準じる世帯の学部生（外国人留学生を除く）に対して、日本学生支援機構の返還不要な給付奨学生に採用された場合は、入学料・授業料が減免されます。

また、この制度の対象外となる学生（外国人留学生および大学院生等）に対しても、経済的理由によって納入が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合は、授業料等を減免する制度があります。

なお、納入期限までに授業料の納入が困難な場合、徴収猶予や月割の分納を認める制度もあります。

■奨学金制度

群馬大学では、日本学生支援機構の奨学金をはじめ、地方公共団体や民間奨学団体などの各種奨学金を取り扱っています。奨学金制度には、返還が必要な貸与型（無利子・有利子）と返還が不要な給付型があります。いずれの奨学金制度も学業・人物が共に優秀であって、経済的に授業料等の支出が困難な学生が対象となります。



奨学金制度の詳細はこちらをご確認ください

● 群馬大学ホームページ 奨学金案内

https://www.gunma-u.ac.jp/studentlife/stu003/stu003_001

● よくある質問

<https://www.gunma-u.ac.jp/admission/g19675>



健康支援総合センター

健康支援総合センターは、学生の皆さんを、身体的・精神的にサポートする学内の医療機関です。「からだ」と「こころ」の健康相談、カウンセリング、健康教育、保健指導、応急処置、医療機関への紹介など、卒業するまでの健康管理をサポートしています。

「群馬大学 健康支援総合センター」
<https://kenkoushien.hess.gunma-u.ac.jp/>



障害学生サポートルーム

障害学生サポートルームでは、さまざまな障害のある学生が、修学上、不利な立場におかれることのないよう学習環境を調整し、一人ひとりの学生がその個性と能力を發揮できるようにサポートを行います。

在学生からの学習や生活に関する相談、高校生等からの受験・入学後の支援に関する相談、障害などのある学生と関わる教職員の相談など幅広く対応しています。

「群馬大学 障害学生サポートルーム」
<https://syougai.hess.gunma-u.ac.jp/>



キャリアサポート室

キャリアサポート室は、学生一人ひとりの適性にあった進路決定ができるよう就職活動の支援を行っています。具体的には、1年次より学年に応じて、キャリア計画、キャリア設計をはじめとする学習意欲の向上を図り、インターンシップにおいては、社会的に必要な能力や実践的な能力の育成、希望する企業等へのマッチングおよび申請支援、実施に関する事前説明会、実習講座およびマナー教育並びに実習後の在学生への体験報告会等を実施しています。

キャリアサポート室では、各企業からの求人票・会社案内、先輩方の就職活動報告書、就職関連図書の貸出し・閲覧などができます。また、公務員用受験案内についても取り揃えています。

「群馬大学 キャリアサポート室」
<https://www.gunma-u.ac.jp/career/car001/g2057>





海外留学

— Study Abroad —

海外研修プログラム

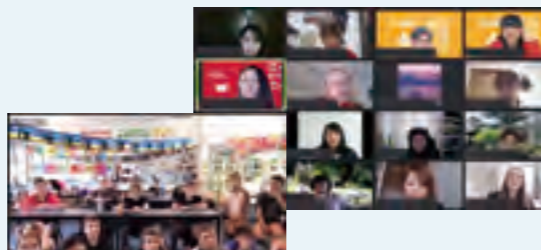
群馬大学では、20カ国1地域114大学等(2023年2月1日現在)と協定を結び、交換留学生として半年または1年、学生を派遣しています。また、夏休みや春休みを利用して、本学および協定校が企画する1~4週間程度の短期研修や語学研修に、多くの学生が参加しています(2019年度における、海外への留学者数は204名、海外からの留学者数は281名)。

このような交換留学や短期研修、語学研修などへの参加者は、日本学生支援機構の奨学金や群馬大学独自の奨励金制度を利用できます。また、2013年度からは教養教育科目や専門科目(一部の学科)の授業として単位が認められるようになりました。

さらに、自らオリジナルの留学計画を立案する意欲的な学生は、群馬大学独自の「グローバルチャレンジプログラム」に申請することができ、採用されれば奨学金や研修など、非常に手厚いサポートを受けられます。2021年春から、日本にしながら海外の大学と交流する新たなオンライン短期研修プログラムも開始しました。

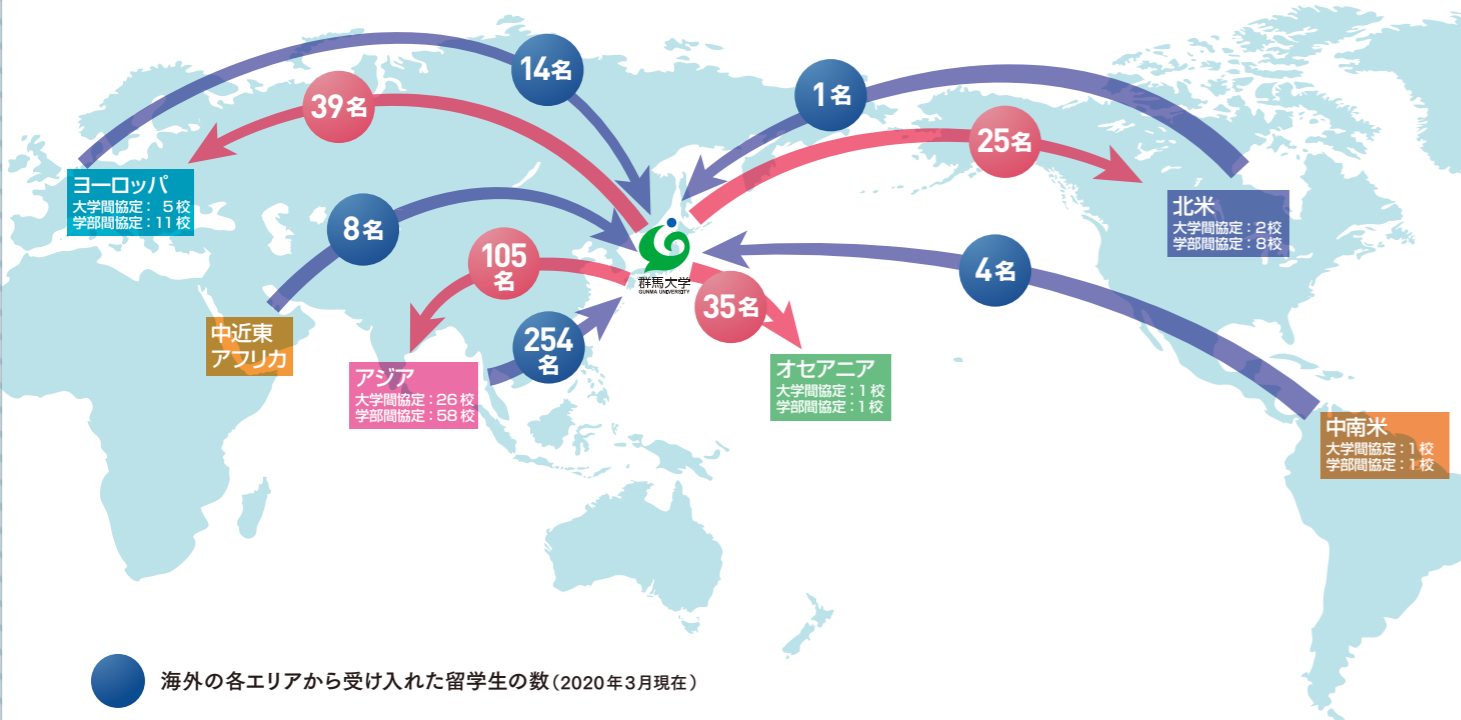
SDGsの課題解決を多国籍の学生と一緒に議論

オーストラリア・ウーロンゴン大学オンライン研修協働プロジェクト
(2021年2月22日~3月5日)



小学校教育でどのようにSDGsが取り組まれているかを現地の小学生とオンラインで直接ディスカッションをしている場面

協定校情報 海外留学 20カ国1地域114大学等と提携



● 海外の各エリアから受け入れた留学生の数(2020年3月現在)

● 海外の各エリアの協定校等に留学・研修した群大生の数 人数は2019年4月~2020年3月の延べ人数

※2019年度の人数を参考に掲載しています。

学生広報大使の取り組み

Student Ambassador 学生広報大使

群馬大学の在学生による広報チーム「学生広報大使」が、オープンキャンパスや進学相談会、広報誌、SNSなどで群馬大学の魅力を在学生目線でPRしています。

2022年7月には学生広報大使の日常をお届けする学生広報大使特設サイトをスタートさせました。

学生広報大使特設サイトはこちら



Twitter @Gundai_sa



Instagram gundai_sa



PV <https://youtu.be/Y7JaxawTk24>



OPEN CAMPUS 2023



対象 高校生・中学生・保護者等

会場 WEBと来校型のハイブリッド開催

WEBオープンキャンパス特設ページ

申込方法・実施内容(受験生応援サイト)
<https://www.gunma-u.ac.jp/prospective/>



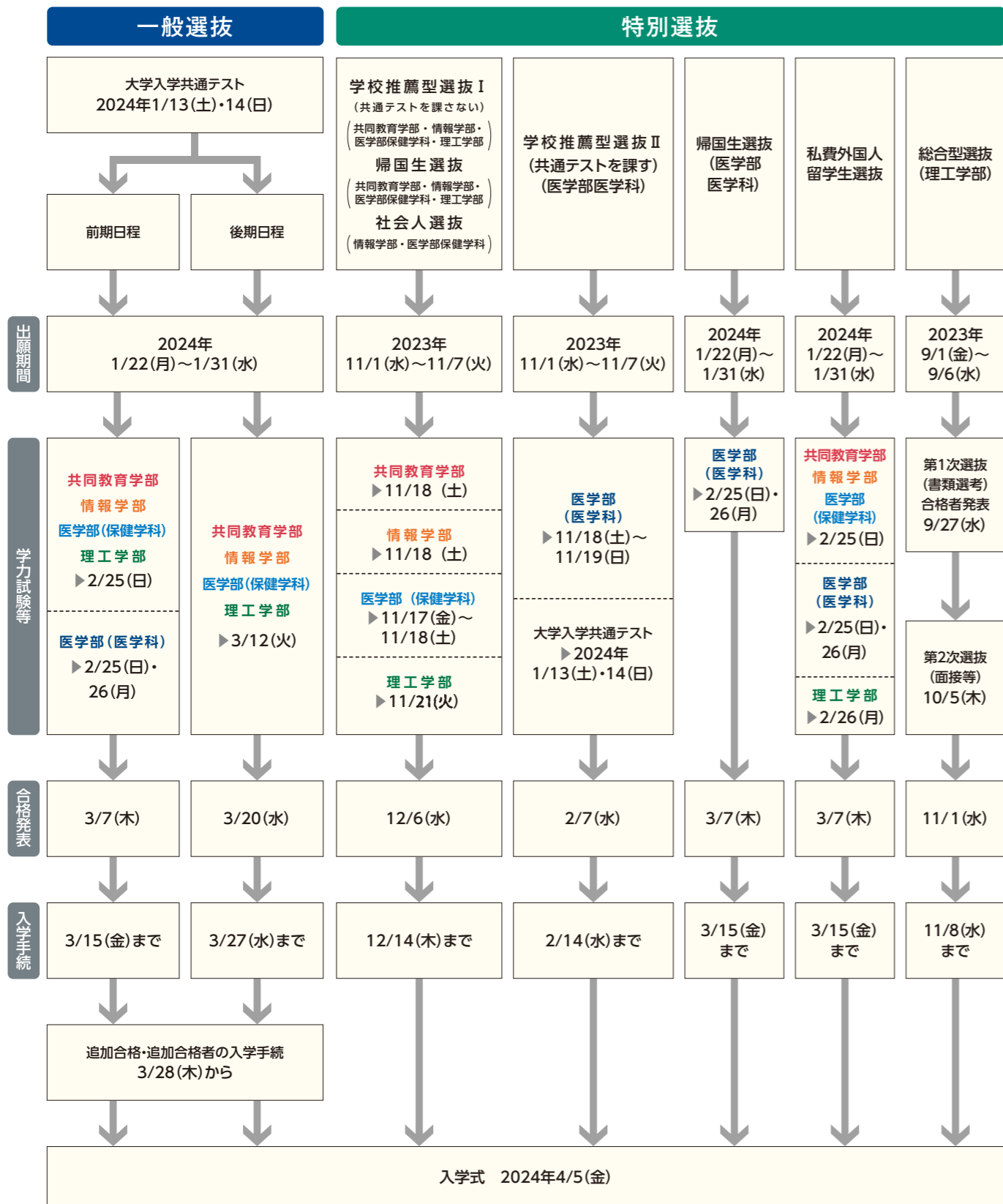
詳細は決まり次第、「受験生応援サイト」でお知らせします。

サークルについて詳しくはこちら▶



入試日程

[入学者選抜日程の概要]



※詳細は、「学生募集要項」で必ずご確認ください。



国立大学法人
群馬大学徽章

周囲は群馬県の象徴である名勝赤城、榛名、妙義の上毛三山を浮き彫りさせて大学を囲み、群馬大学の象徴としています。



国立大学法人
群馬大学ロゴマーク

群馬大学英頭文字「G」をモチーフに緑と青で豊かな自然環境を示し、学生の成長と活躍をイメージして、新しい未来の創造と、社会へ貢献する大学の存在感を表現しています。

群馬大学の歩み HISTORY OF GUNMA UNIVERSITY

- 1873 小学校教員伝習所(現共同教育学部)
- 1915 桐生高等染織学校(現理工学部)
- 1943 前橋医学専門学校(現医学部)
- 1948 前橋医科大学
- 1949 群馬師範学校、群馬青年師範学校、前橋医科大学、桐生工業専門学校を併合し、それぞれ芸学部、医学部および工学部からなる群馬大学が開学
初代学長に西成甫就任
- 1951 学芸学部附属小・中学校および幼稚園設置
- 1955 大学院医学研究科設置(現大学院医学系研究科)
- 1963 附属研究所として内分泌研究所設置(現生体調節研究所)
- 1964 大学院工学研究科設置(現大学院理工学府)
- 1966 学芸学部を教育学部に改組
- 1970 教育学部が荒牧キャンパスに移転
- 1979 教育学部に附属看護学校設置(現附属特別支援学校)
- 1981 教育学部に附属教育実践研究指導センター設置(現附属学校教育臨床総合センター)
- 1990 大学院教育学研究科設置
- 1993 社会情報学部設置
- 1996 医学部に保健学科設置
- 1998 大学院社会情報学研究科設置
- 1999 留学生センター設置
- 2004 国立大学法人化
- 2005 総合情報メディアセンター設置
重粒子線医学研究センター設置
- 2007 太田キャンパス発足
- 2008 教職大学院設置
ケイ素科学国際教育研究センター設置
社会情報学研究センター設置
- 2010 重粒子線治療開始
- 2011 大学院保健学研究科設置
- 2013 工学部を理工学部に改組
大学院工学研究科を大学院理工学府に改組
多職種連携教育研究センター(WHO協力センター)設置
男女共同参画推進室設置
- 2014 未来先端研究機構設置
- 2015 元素科学国際教育研究センター設置
- 2016 次世代モビリティ社会実装研究センター設置
- 2017 数理データ科学教育研究センター設置
食健康科学教育研究センター設置
- 2020 教育学部を共同教育学部に改組
男女共同参画推進室をダイバーシティ推進センターに改組
- 2021 情報学部設置
理工学部を「2類」に改組
- 2022 学生受入センターをアドミッションセンターに改組

車の場合

- 練馬I.C～前橋I.C(関越自動車道)……約1時間10分
- 新潟I.C～前橋I.C(関越自動車道)……約2時間40分
- 長野I.C～前橋I.C(上信越自動車道)……約1時間40分
- 宇都宮I.C～前橋I.C(北関東自動車道)……約1時間30分

電車の場合

- 東京駅～高崎駅(JR上越・北陸新幹線)……約50分
- 新潟駅～高崎駅(JR上越新幹線)……約1時間10分
- 長野駅～高崎駅(JR北陸新幹線)……約40分

直通高速バスの場合

- 東京・池袋駅～前橋駅……約2時間30分
- 東京・新宿駅～前橋駅……約2時間30分
- 羽田空港/成田空港～前橋駅……約3時間30分



国立大学法人
群馬大学

ホームページから請求する

入試資料・学部案内の請求方法

大学に訪問して受領する

各資料は、「テレメール」や「モパっちょ」を利用して、パソコン、スマートフォンから請求できます。

群馬大学ホームページ【入試情報>資料請求】で請求方法を御確認ください。

[<https://www.gunma-u.ac.jp/>]

請求できる資料、料金(送料・手数料)、料金お支払い方法等は請求方法によって異なりますので、御注意ください。

なお、群馬大学への郵送による請求は、受け付けておりません。

来学いただいた方には、次の場所で直接お渡します。

①荒牧キャンパス

アドミッションセンター (平日 8:30 ~ 17:15)

守衛所 (平日 17:15 ~ 8:30、土日・祝休日)

【お問合せ】

アドミッションセンター TEL 027-220-7154・7680

②昭和キャンパス

学務課入学試験係窓口 (平日 8:30 ~ 17:15)

【お問合せ】

昭和地区事務部学務課 TEL 027-220-8909・8910

③桐生キャンパス

1号館 1階 (平日 8:30 ~ 17:15)

守衛所 (平日 17:15 ~ 8:30、土日・祝休日)

【お問合せ】

理工学部入試・大学院係 TEL 0277-30-1037

※群馬大学は、インターネット出願を導入しているため、紙の募集要項の発行はしていません。出願される際には、本学Webサイトに掲載される募集要項を確認してください。



群馬大学公式HP



Facebook



LINE



Instagram



Twitter



YouTube

群馬大学に関するお問合せ **アドミッションセンター**

TEL : 027-220-7154・7680 E-mail : AdmissionCenter@jimu.gunma-u.ac.jp

入試に関するお問合せ **学務部学生受入課**

TEL : 027-220-7150・7151・7152 E-mail : g-admission@jimu.gunma-u.ac.jp
〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2

